新京日日新聞
夕刊 十月十六日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五拾錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 {編輯部專用 三二二五 營業部專用 三二〇〇}
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

南北軍相呼應し 伊空軍爆撃を開始

エ軍各所とも殲滅的打撃を受く

外人記者英領事館に避難

【アスマラ十五日發國通】イタリー空軍爆撃隊は十四日午前、午後の兩度に亘りマカレ南方地區でエチオピア軍密集部隊を發見爆撃を斷行して潰滅的打撃を與へた、更にマカレ南方アンバアラギ附近に於てエチオピア軍の屯營天幕三百個を爆撃し又ベルマリアの武器彈藥庫に爆撃を加へて完全に爆破したと、尚南方戰線でもイタリー空軍は十五日拂曉以來エチオピア南軍の根據地ハラール上空に襲來した、市民は附近の丘陵に避難し外人新聞記者團も英國領事館に避難した

エ軍の挺身隊

イ軍の退路を遮斷

【ジブチ十四日發國通】東部戰線に於るエチオピア軍挺身隊は佛領ソマリランド境よりイタリー領エリトリアに侵入しアウサ平原に進出してゐる有力なイタリー軍の退路を遮斷したのでイタリー軍は砂漠に孤立するに至つた

エチオピアを分割

伊政府の魂膽

【ローマ十四日發國通】戰況を有利に展開させてゐるイタリー政府は妥協案としてエチオピアを二分し一部をイタリー領とし他の一部を國際管理に置かんとする方針を抱いてゐると傳へられる

ラ・スムルゲウ將軍出動

【アヂスアベバ十四日發國通】引續く敗戰の報に切齒扼腕してゐたエチオピア隨一の猛將前陸相ラ・スムルゲウ將軍は遂に部下を率ゐて前線に出馬、伊軍と決戰に決した

國軍總動員を佈告

【アヂスアベバ十四日發國通】黑人帝國の聖地アクスム奪回のためエチオピア政府は國軍を總動員して行動を開始する旨皇帝は十五日佈告を發せられた

英政府に對する軍縮回答案文決る

【東京國通】英國政府に對する軍縮回答案は十五日の閣議に於て正式決定し、即日在英藤井代理大使宛に訓令を發した

その要點は左の如くである

一、帝國政府の海軍々縮に對する根本方針は從來屢々闡明せる通りにして各國間に不脅威不侵略の事態を招來せしむべき徹底的軍縮を行ふにある

一、而して我方としては各國との間に虛心坦懷なる意見の交換が行はれなるべく速かに公正妥當なる協定が成立するに至らん事を衷心希望し

一、右目的達成の爲眞摯なる努力を爲さんとするものである

カナダ聯邦總選擧行はる

【トロント十四日發國通】カナダ聯邦總選擧は十四日全國一齊に行はれたが結果は保守黨の不利となりベネット内閣は敗北した、午後十時には大勢決し自由黨は總議席二百四十五の中百三十議席を占め絕對多數を獲保した斯くて英帝國の保護貿易政策を表看板とする保守黨内閣は完全に敗退し自由黨か代つて政權を把握する段取りとなつた、日加兩國の關稅戰も自由黨の勝利で玆に新展開を示すものと期待される、午後十時現在各派の議席數は左の通り

自由黨	一三〇
保守黨	三〇
共同聯邦黨	二
無所屬	四

駐支海軍武官會議

十九日より上海で

【上海十五日發國通】當地で開かれる陸外の駐支機關會議と同樣海軍側に於ても本省より派遣された本田大佐を迎へて百武第三艦隊司令官、杉坂第十一戰隊司令官、佐藤駐在武官、荒木陸戰隊司令官の諸星をはじめ青島肥後少佐、漢口長井少佐、南京北浦中佐、福州須賀大佐、上海仲野少佐の駐支全海軍要人が顏を揃へ海軍武官會議が十九日より開催されることとなつた

政友會勝つ

民政を拔く五十三名

【東京國通】二府卅三縣の府縣議戰は十四日終了したが十五日判明した最後の結果は左の如きものである

政友會	六六七
民政黨	六一四
國民同盟	三四
無產黨	三六
其の他	二一
中立	一三六
合計	一、五〇八

政府與黨を以て任ずる民政黨が戰前より數を減じ政友會に五十三名も拔かれた事は所謂理想選擧の現れか否かは知らぬが注目すべき結果と云ふべきであらう、當選者を新舊別に見ると

新	五四七
現	八三〇
元	一三一

谷參事官北支視察に

在支外務首腦部と重要協議

大使館參事官谷正之氏は十六日午後二時發あじあで北支視察の途についた同氏は奉天より熱河に入り熱河各地を視察後天津、北京に赴く筈であるが來る二十五日ごろ天津において中央の對支根本方針傳達のため外務省から特派された守島東亞局第一課長を迎へ谷參事官、堀内書記官を始め北京、天津、南京、濟南、靑島各在支外務省公館の首腦部が會同、對支政策を中心に會議が行はれることゝなつてゐる

三浦商大學長

十六日發令

【東京國通】佐野東京商科大學長の辭表提出に伴ふ後任はいよ〳〵十五日の定例閣議で三浦新七博士に決定したので上奏御裁可を仰ぎ、十六日正式發令する事になつた

正四位勳三等 三浦新七
任東京商科大學長
東京商科大學長 從三位勳二等 佐野善作
依願免本官

政府は今後

聲明文の主旨實行に邁進

【東京國通】政府の國體明徵再聲明は當初軍部が要求したより極めて穩健なものとなつたが、右は主として白根翰長金森法制局長官等の起草に係るものを骨子としたからであり、軍部が辛うじて之に步み寄り危くも破局を防止し得たわけである、政府は今度の聲明を最後の切札とし今後此聲明の主旨を實行する以外は人事問題は勿論如何なる軍部側の要求にも應じ得ずとの固き決意を固め再聲明に對する反響に深甚な注意を拂つてゐる

陸相の所信を附して聲明文を國軍に布告

【東京國通】陸軍では政府の聲明に川島陸相の所信を前書として附加し陸相の訓示若くは陸軍次官の通牒の形式でなるべく速に全軍並びに在鄉軍人方面に布告することゝなつた

村上關東軍顧問東上

村上關東軍顧問はパルプ會社認可決定の現地案を携へ十六日飛行機にて東上、農林省その他關係當局と最後的打合せを遂げ、今後の方針を決定することになつた

松島近東巡閲使昨日歸國

【上海國通】去る六月外務省より特派され近東諸國各地の經濟市場を視察中であつた近東巡閲使松島肇大使は歸國の途十四日當地着の郵船箱崎丸で寄港した、同氏は十五日發の商船で一路歸國したが鎭江へ向ふ筈である

松岡總裁吉林へ向ふ

十五日朝來京した松岡滿鐵總裁は沿線視察續行のため十六日午前八時發飛行機で吉林へ向つた、吉林に於て吉林神社忠靈塔に參拜、守備隊、軍管區、特務機關、省公署を訪問鐵路局に於て訓示をなし一時三十分發飛行機で額穆、鏡泊湖、東京城、寧安を經由牡丹江へ向ふ筈である

長岡廳長の出張日程

長岡總務廳長は第一線部隊慰問及地方政情視察のため錦州地方へ出張するが日程は次の通りである

▲一六日(後一一、〇〇)新京發▲一七日(前七、一〇)奉天着同(同八、三〇)錦州發同(後一、三二)錦州着▲一八日(前八、〇〇)錦州發同(同八、三五)朝陽着同(後一、〇〇)朝陽發同(同二、〇〇)山海關着▲一九日(前九、〇〇)山海關發同(後一、〇五)錦縣着同(同一、四二)胡蘆島着同(同四、三五)胡蘆島發同(同六、一五)錦縣着▲二〇日(後〇、〇二)錦縣發同(同四、一五)奉天着同(同四、三〇)奉天發同(同九、〇〇)新京着

山田城大總長十八日來京

京城帝國大學總長山田三良氏は來る十八日午後九時新京驛着ひかりで來京する

その日〳〵

□

伊太利空軍恐れ氣もなく爆撃また爆撃、エチオピアには氣の毒だが

□

戰況更に進展、英、伊の爭ひまで進めば東亞の和平愈よ確立されよう

□

明徵問題政府再聲明、漸く明徵になつたやうだが底に流れるものはまだ〳〵

□

中條百合子起訴に決定、いゝ年をして獄窓に、父は轉向を誓つて保釋を願つてゐる

□

西公園いよ〳〵多眠に入る、苦力の巢窟に變らぬやう、儲けた金で巡視でも增員

人事往來

▲佐藤應次郎氏(滿鐵理事)十五日午後來京
▲御影池辰雄氏(關東局警務課長)十六日午前歸京
▲關口善吉氏(藤倉電線取締役)十五日午後來京ヤマトホテル
▲因幡正明氏(同大連支店)同
▲石橋五郎氏(同社員)同
▲田中清次氏(前滿鐵理事)同
▲松田義雄氏(鮮銀副總裁)同
▲伊東義節氏(極東企業公司)同
▲船橋甚平氏(神戶實業家)同
▲兒玉常雄氏(滿洲航空會社副社長)同名古屋ホテル
▲千葉郁治氏(前陸軍主計總監)同
▲淺見幸弘氏(北海道帝大敎授)同
▲延原觀太郎氏(大阪延原製作所長)同
▲羽田野平三氏(海邊警察隊警務科長)十五日午後來京國都ホテル
▲千葉壽氏(服部製作所員)同
▲後藤廣三氏(滿洲航空會社常務取締役)同
▲武宮豐活氏(同社員)同
▲解良常和氏(大阪商船社員)同
▲石本龜之助氏(同)同
▲山本健二氏(軍人)同
▲金井佐治氏(滿洲特產工業取締役)十五日午後發奉天へ
▲西脇乃夫彥氏(日本コロムビヤ社員)同午前哈市へ
▲太田政助氏(京城貿易商)同
▲黑田啓氏(鞍山土木業者)同
▲石田武亥氏(奉天商工會議所會頭)同
▲兒玉翠靜氏(同理事)同

團体

▲三重縣津聯隊區部隊慰問團二十名十六日午後四時發ハルピンへ
▲京都市敎育視察團第二班十八名十六日午後二時發南行
▲麻布聯隊區將校視察團四十四名十六日午後三時四十分來京十八日午前七時二十分發吉林へ
▲高知縣兵事會代表滿洲部隊慰問團九名十六日午後六時四十分來京
▲第二回日本商品見本巡廻展示團會十九名十七日午前八時三十四分來京

光りの彼方に 43 混血兒(二) 大林梅子作

社長の福田總三の姿は特等席から消へ失せてゐる。――あしのやうなアンコールに呼び立てられて、チリイが再び舞臺に姿をあらはしてゐた。

先刻の紅の衣を脫ぎ棄けて、胸にはダリヤの白い花を一輪さしてゐる。かの女は、嬉しげに笑ひながら觀客に一禮して、そのまゝ舞臺から去らうとしましたが、突然、フランス人の例の小男が奧からとび出してくると、いきなりかの女にとびついて、强引に、腕のあたりをつきとばしながら、隅の椅子へ押し据えたのです。

觀客達は、この狂氣じみた小男の仕草に再び、注意の眼を向けずにはゐられなかつた。だがかの女はこの暴力に對して、少しも驚いてはゐないのです。これが、かの女の賣り物になつてゐるのでした。

小男は、チリイが既定の位置に着いたのを見ると、安心したやうに觀客の前へ進み出て例の仰山なキスを送つて、

『イッシ、メシエール。お集りになる皆さま方! 只今、ごらんに入れましたる演技、紳士淑女さま方のお眼にとまりまして、花輪、金圓、樓臺のとされもの……さ』

と、言ふと、樂屋から澤山の贈り物がゾロ〳〵と持ち出されて背景をかくすばかりに並べ立てられたのです。

小男は、一々その品物の目錄と、贈り主の名前を讀み上げるその中で、福田總三さまよりと云ふ聲が、幾度か繰り返されました。

はなかすべて讀み上げられたそれが運び出されるとチリイは自分の樂屋に通じてゐる薄暗い路で、かの女は香苗に肩を叩かれた。香苗は、終演のパラエテに出るので、美しく扮裝つてゐましたが、チリイの立食をひながら眺めて

『チリイさん、お美味さうネ』

と、言つた。チリイも笑くるしい眼に笑ひを見せてゐた。

と、香苗が、

『あのハネてからね。ちよつと貴女に話したいことがあるの。それに、福田總三つて貴女に花輪を贈れた人ねえ。あの人、會館で待つてゐるわ。そいからあたしの友達の志村さんつて方も、貴女にちよつとお眼にかゝりたいつてあたしの樂屋で待つてゐるわ』

× ×

チリイの樂屋口に足音が近づくと、ドアをノックする者があつた。それは香苗だつたのです。

香苗は、終演をすませて直ぐ化粧へやつて來たのだ。

小男とへれ違つて舞臺の前へ出て、觀客達全部へ華やかなキスを送り、そして拍手をあびせられながら舞臺から退いたのです。

かの女は、火番のおばさんの所へ走つてゆくと、カステルと牛乳の瓶を取つて、それを盆んだり食べたりしながら自分の樂屋のはうへ歩いて行つた。

勸元の裏である多香苗にすゝめられてかの女はその給金を相當貯へしてあるが、しかしかの女としては、貯金などようでもよかつたのです。

それよりも、仕事がすんでから註晩定つて貰へることになつてゐる菓子とミルクが何よりもかの女には嬉しいのだつた。

海外ニュース

英國は米國メリーランドに於て行はれた爆撃機投下演習の時の撮影

滿洲國財政部發行福民獎券中彩號票

第十九回福民獎券中彩號碼

玆將中彩號碼列下自康德二年十月二十三日起在各地代賣所(限得彩金未滿壹百圓者)及滿洲中央銀行各地總分支行(限得彩在金壹百圓以上者)憑獎券兌付得彩金(甲乙丙三組號數相同)

康德二年十月十六日 滿洲國財政部

彩別	金額(本數)	中彩號碼
頭彩	壹萬圓(1)	13.102
附彩(得頭彩號數之前後號數)	參百圓(2)	13.101 13.103
二彩	參千圓(1)	15.205
附彩(得二彩號數之前後號數)	壹百圓(2)	15.204 15.206
三彩	壹千圓(1)	38.965
附彩(得三彩號數之前後號數)	伍拾圓(2)	38.964 38.966
四彩	壹百圓(23)	24 269 1.295 3.815 4.623 8.561 8.854 10.718 13.678 18.144 19.750 22.375 29.824 31.534 32.677 37.134 37.591 41.741 44.028 44.208 44.644 45.194 45.694
五彩	五拾圓(48)	1.563 2.081 2.374 2.562 3.126 5.132 6.953 8.545 8.816 10.170 10.476 10.637 10.683 10.787 11.971 13.647 13.675 15.834 16.084 16.303 18.257 19.867 20.105 22.073 22.780 22.926 28.023 29.970 32.809 34.211 38.085 40.322 40.699 40.756 40.838 42.298 42.531 43.121 43.203 44.493 45.158 45.321 45.352 46.046 46.695 46.955 47.842 49.542
六彩	拾圓(240)	205 239 364 446 564 620 934 1.255 1.483 1.644 1.936 2.051 2.532 2.688 2.765 2.768 3.048 3.098 3.128 3.502 3.964 4.142 4.163 4.262 4.263 4.644 4.786 4.896 4.912 4.954 [illegible]
七彩	五圓(600)	[illegible] … 48.737 48.981 48.988 48.994 49.127 49.176 49.184 49.247 49.428 49.481 49.529 49.567 49.581 49.655 49.657 49.715
末彩	壹圓(4,999)	彩相頭字者與末同 2

一般市民も加つて あす敬老會の催し
各婦人會幹部總出で接待
あす一時から開く

御老人を喜びませう、新京教化聯盟主催の敬老會は新京婦人團體聯盟後援の下にいよいよ明十七日午後一時から高女講堂で開催される、當日招待を受ける七十歳以上の高齢者は内鮮人合せて百五十三名、受付から案内、會場設備、茶菓の接待やら福引、歸りの仕度まで各婦人會幹部連總出でこれ努める、餘興には可愛い兒童舞踊、御老人向きの落語大橋勾當社中の箏曲その他、かゆいところに手の届くサービス振りを見せて御老人連を喜ばせやうといふ趣向である當日のプログラムは定刻一時開幕

一、開會の辭　婦人團體　矢澤夫人
一、挨拶　教化聯盟委員長　武田胤雄氏
一、兒童舞踊　滿鐵倶樂部兒童舞踊研究會
一、箏曲　大橋勾當社中
一、落語　曙一平
一、挨拶　婦人團體聯盟　石崎婦人
一、福引
一、兒童舞踊　黎明舞踊研究會　青木夫人
一、閉會の辭　婦人團體聯盟　青木夫人

なほ當日は高齢者慰安の意味で、出來るだけ多數市民の參加を歡迎し開會前からレコードを演奏して終始賑かに意義ある半日を送ることになつてゐる

寛城子踏切り工事
來月半ば頃竣工
東五條ガードも來月初竣工

さる六月二十日ごろから着工した寛城子踏切り

工事

は來月一日で竣工の豫定で超スピードの施工を行つてゐたが夏季の雨が多かつたゝめ現在のところ約二週間工事が遲れてゐるが來月半ばには少くとも片側だけは人馬車とも通行出來る、東五條通りのガード工事も着々捗り來月四、五日ごろからは荷馬車、トラックなど全部通行が出來六月以來土建材料運搬荷馬車、トラック乘用客自動車、馬車など遠く西廻り、東廻りの苦い憂き目をみてゐた市民もいよいよ來月になれば(立派な地下道が完成し)寛城子は月半ば

便利

がよくなると同時に數十年來魔の踏切りとして全滿に知られてゐた寛城子ゆき踏切もなくなり新京市民にとつて長年待望されてゐた地下道が完成する

動車運轉手松原正男氏は十五日午後一時頃同所内にてローヤル拳銃(三九四〇號)一挺と彈丸二十三發を窃取され屆け出た

傷病兵明日凱旋

二旬に亘る討匪工作に轉戰また轉戰、不幸敵彈に傷を負け病魔に襲はれ無念の凱旋の途についた歩兵第〇〇隊の市原上等兵以下九名の白衣の勇士が十六日午前十一時三十二分着列車で新京に到着、午後三時四十分着列車ではハルビン部隊所屬の二十九名の傷病兵が到着、衛戍病院に入つた、なほ明十七日午後二時四十分發列車でこれら白衣の三十八勇士は内地に向け凱旋する

拳銃を盗まる

滿洲國民政部哈拉海ペスト調査所自

愈よ今夜開く
關屋前次官講演會

前宮内次官關屋貞三郎氏の「今上陛下の御日常を拜し奉りて」と題する講演會は地方事務所主催の下に十六日午後六時三十分から記念公會堂で開催される

ペストは漸く下火
今年は前年の三分の一

一時猖獗を極めたペストも寒

電々新京管理局
けふ業務開始
サービスも大いに改善

電々會社の職制改革に伴つて新らしく設置された新京管理局はいよいよ十六日から南廣場の舊中央電話局跡で業務を開始する事となつた、同局は總務、電業、技術、經理の四課より成り新京を中心に吉林奉天、間島、龍江、興安東、南、西各省一部を含む廣汎な管内現業局所の監督指導に當るもので公衆サービスを第一義として現業局と共に第一線に立つてサービス改善に活躍する筈で從來電信、電話、ラヂオ放送等に圓滿を缺いてゐたサービス問題も管理局の新設によつて大いに改善されるものと期待されてゐる、なほ局長園田勉太郎氏は電々會社創立當時から滿洲通信事業の建設に盡瘁した人で本社技術部庶務課長も兼任してゐる、同局幹部は左の通りである

局長	園田勉太郎
總務課長	才津新造
文書係主任	白石龍己
會計係主任	山成源太郎
調度係主任	原信四郎
局附	水内喜代次
人事係主任	淺川勘藏
營業課長	岸川吉郎
電信係主任	渡邊立樹
電話係主任	齋藤功
放送係主任	武末仙之助
技術課長	佐々木敏郎
庶務係主任	上野幸巳
線路係主任	中山鋭雄
機械係主任	長谷川梅吉
無線係主任	金澤精治
經理課長	石井庄一郎

南九州特別大演習を
軍政部大臣等陪觀
來る卅一日新京發各地も見學

來月上旬から南九州において實施される秋季特別大演習陪觀並びに日本見學のため軍政部大臣以下十三名は來る三十一日午前九時發はとで軍政部最高顧問佐々木少將以下指導官及び通譯官とゝもに(一行二十三名)出發するが指導陪觀武官及び見學武官の氏名日程は左の通りである

一、大演習陪觀武官指導官佐々木少將、同芳賀少佐、同補助官土屋上尉
一、同武官軍政部大臣于上將錦州地區警備司令官田中少將、吉林警備司令官吳少將、混成第十三旅長李少將、大臣隨從官秘書磯部上尉
一、日本見學武官指導官河崎中佐以下四名
一、同武官第一教導隊長蘇少將以下四名

一行の日程

△三十一日午前九時新京發
△一日旅順戰跡見學
△二日大連出港の吉林丸で離滿
△五日神戸着、縣廳市役所訪問、川崎造船所見學、湊川神社參拜
△六日大阪、師團司令部、府廳、市役所訪問、造兵支廠造幣局見學
△七日鹿兒島へ
△八日演習地へ
△十四日鹿兒島發京都へ
△十五日桃山御陵參拜、師團司令部、府廳、市役所訪問
△東京着、宮中伺候、挨拶廻り、多摩御陵、明治神宮、靖國神社參拜、陸軍士官學校始め各學校、會社見學(十七日から二十九日まで東京附近)
△三十日東京發
△十二月一日伊勢神宮參拜
△三日宮島、海軍兵學校見學
△七日京城、軍司令部、總督府訪問
△八日午後五時三十分歸京

中條百合子
起訴に決定

【東京國通】本年五月初旬より淀橋署に留置取調べられてゐたプロ作家中條百合子は警視廳、東京地方裁判所檢事の取調べも一應濟んだので愈よ治安維持法違反として起訴する事に決定、十五日午前東京地方裁判所に送局され市ヶ谷刑務所に收容された

冷とともに漸次下火に向ひ、現在では前郭旗附近になほボツボツ發生のほかは大體において鎭靜狀態にあり、本年の發生狀態を見ると昨年に比べて約三分の一程度に過ぎず非常な好成績であつた、日滿衛生機關ではなほ當分警戒の手をゆるめず最後まで防疫を徹底さすことになつてゐる

スタンフォード
大學教授來京

米國スタンフォード大學史學教授ペーソン・ジャック・トリート博士は夫人同伴十五日あじあで來京、十六日朝大使館を訪問谷參事官等と滿洲事情に關し懇談したが午後は南大使、長岡總務廳長等日滿要人と會見する筈である、トリート博士は日本及支那史研究の權威として知られ事變以來日本の立場を宣揚した大の親日家である

曙町大正寺で
雪巖師講演

市内曙町曹洞宗大正寺では永平寺總持寺兩大本山特派布教師中村雪巖老師を聘し十七日午後七時より、十八日午後一時より講演會を開き一般の參聽を歡迎することゝなつた曹洞宗では非常時局及國體明徵問題等に關し滿洲へは特に中村師を派遣したものであると

滿洲鑛業開發株
式會社披露

滿洲鑛業開發株式會社では十五日夜八千代館に在京新聞通信等の幹部を招き披露宴を催したが會社側から山西理事長中川理事、津川總務部長、工藤業務部長出席寛いで歡談した

殊勳刑事に賞與

九台縣を荒してゐた兇匪頭目双江の副頭目原籍山東省生れ新京鐵嶺市門牌十號無職宋流臣(二九)を逮捕した新京總領事館谷口、城口、桃坂三刑事、威巡捕らに對し廣石署長は金一封を賞與して勞を犒つた

大原地委議長
委員區長招宴

新京地方委員會議長大原萬千百氏は就任挨拶を兼ね懇親のため新地方委員並に各區々長を十六日午後六時から料亭八千代に招待し一夕の宴を張るはず

農安分駐
所員出發

今回農安に新設された新京附屬地憲兵分隊農安分駐所は十六日から事務開始し土田伍長以下二名は十六日午前八時發京白線で赴任した

分館主任を命ぜられ本月末日赴任の豫定である、同氏は昭和八年四月來京、なほ後任は北平大使館書記生金子二郎氏に決定した

あす(十七日)

▲敬老會(新京教化聯盟主催)午後一時記念公會堂
▲球技大會(特別市公署主催)當日から三日間自强學校
▲體育舞踊講習會(同)同上

けふの銀相場

國幣對金票	[illegible]
鈔票對金票	[illegible]
國幣對鈔票	[illegible]
現大洋對鈔票	[illegible]

特別市の自治機關
保甲團結成式

大同二年十二月廿二日發布せられた敎令九十六號暫行保甲法に基き新京特別市でも市街地特有の保甲制度を實施すべく、首都警察廳及新京特別市公署に於て鋭意研究中の處漸く成案を得來る十月十八日午前十時大同廣場に於て保甲團の結成式を行ふ運となつた、かかる大都市に保甲制度を實施することは殆ど其例に乏しいが滿洲國大都市の行政上の補助機關として其運用は頗る廣範圍に亘り其の成果は大いに期待されてゐる、新京特別市は首都として已に警察網の完備せる現在警備に重きを置かず主として行政上助成機關たらしめんが爲に首都警察廳の外、新京特別市公署に於ても其の指揮監督權を有する點に都市保甲制度の特異性があり、隨つて從來存在した公益協議會の如きは自然解消して保甲團に統せらるゝはずで官民一致の自治機關として首都發展に寄與すること大いなるものがあらうといはれてゐる

敵匪を殲滅
鍛治川支隊に犠牲者

【錦州國通】十四日朝陽縣太平房南方地區十キロ六二三高地附近で敵匪と激戰敵を全滅に瀕せしめた松井部隊の鍛治川支隊では左の犠牲者を出した

▲重傷　原籍　香川縣木田郡庵治村五四　一等兵　山本大吉
同　和歌山縣有田郡五西月村　天地政雄
特務曹長　高井紫太郎
軍曹　小崎進
一等兵　福原政知
二等兵　泉八雄
▲輕傷　一等兵　森田久龜

に警士二名戰死、藤田指導官外二名負傷した

西公園一夏の稼ぎ高
一萬二千余圓
けふから入園無料
懐しのボートも陸揚げさる

西公園一夏の總稼ぎ高が一萬二千三百四十圓九十錢とは揚げも揚げたもの、さる四月十五日から一回二錢づゝの入園料も六月二十四日から半時間二十錢づゝのボート代もいよいよきのふまでゞ今日から入園は無料、ボートは陸揚げとなつたがこの入園料、ボート代が一萬圓を突破した内譯は

◇入園料(四月十五日より十月十五日まで)
一、一回券(二錢)四十五萬二千七百五十枚=九千五十五圓
一、三十回券(五十錢)六百七十三冊=三百三十六圓五十錢
一、期間券(二圓)八枚=十六圓
一、合計一萬二千三百四十圓九十錢
△ボート代(六月二十四日から十月十五日まで)
一、一萬四千六百六十七枚=二千九百三十三圓四十錢
なほ昨年と比較して入園料は昨年七月十日から始つたので七月十日からの分で本年が八十圓餘りの減となつてゐる

東來匪を
潰走せしむ

【ハルビン國通】十四日午前九時木蘭縣城北方五十萬里の觀喜嶺に匪首東來の率ゆる百三十の匪團侵入せりとの情報に接し歳出指導官以下五十名が急行、匪團を東北方に潰走せしめた、此戰鬪に於て我方

薄幸の靜江に
懲役十ヶ月求刑
裁判長の訊問にたゞ涙の被告

倫落の淵に足を入れ遂に恐ろしい罪を犯した本籍福井縣今立郡皆内村大字岩内無職河村靜江(二二)にかゝる竊盜、詐欺事件の公判は十六日午前十時から總領事館裁判所で花輪裁判長係下田檢事々務取扱立會の下に開廷された、裁判長は宣誓を言渡すや終つて型の如く被告の住所氏名を訊した後犯行の動機に入るや被告は涙にむせび裁判長に對する答も聞き取れない程の少さい聲でやつと答へる、被告は二歳の時母に死別し父親の手で十二歳まで育くまれそののち松旭齋天勝の一座に入り十八歳まで各地を轉々としたがおもはしくないので一旦歸鄕家庭の手傳をしてゐる内職職が出來父の知人である松井定男(二一)と結婚したが二年目に夫は病死し再び家庭に歸へり昭和九年九月岡部キヌヨさんの世話で來京し、岡部氏宅に同居中隣家居住の杉山美作(二七)と知合ひ二人の戀は急テンポに進み本年四月同棲し二ヶ月間同棲の後男は遂に姿をくらまし顧る所もなく所々徘徊する内金に窮し竊盜を敢行したものである。

裁　腹の子は何ヶ月か
被　七ヶ月と思つてゐます
裁　被告は内地に歸るべく大連に行つたのではないか
被　さようです
裁　何故歸京したか
被　杉山がゐるかも知れないと思ひました
裁　杉山のです
被　腹の子は誰れのか
裁　杉山との内縁關係は
被　本年四月頃からです

裁判長は被告に今後の身の振方をどうするかと糺すと答へることも出來ずたゞ涙を流すばかりである、終つて檢事の論告に入り下田檢事取扱は被告は前後七回に亘つて犯行をなしてゐるがこの動機は薄情な杉山に起因するものである、併し犯した罪は許されがたく重きによつて處斷すべきではあるが腹にある赤ん坊の事を思へば重刑とすることも出來ず本官とても涙ある身、よつて刑法第十條により懲役十ヶ月に處すと十ヶ月を求刑した

公債僞造團一味
數日中送局

【奉天國通】奉天署の手によつて檢擧された公債八十萬圓僞造事件の取調べも大體終了殖銀復活運動の渦中に捲込まれた京城ホテル主人中原光吉氏並に一味に操られて十八萬圓の不當貸出しを行つた奉取信託事務金丸富八郎氏に對する取調べにより最後的證據固めも完了したので僞造團首魁川村殖銀常務等一味六名は三四日中に送局の運びとなつた而して奉取信託不當貸出しの責任者たる金丸專務、吉岡會計主任等も商法違反並に背任罪として不拘束のまゝ起訴されるものと觀られるが金丸專務は同事件に關聯し奉取信託に致命的損害を與へたる責任を痛感し十四日奉天署に私財五萬餘圓提供方を由出で中島司法主任に財産目錄を提出謹愼の意を表してゐる

有久書記生榮轉

新京總領事館書記生有久直忠氏は今回間島總領事館百草溝

近海郵船千歳丸
廿日大連發
は長崎まで

近海郵船會社大連、長崎、鹿兒島定期航路就航の千歳丸は遞信省の定期檢査を受けるため長崎に於いて入渠するので來る二十日大連發航行は長崎止りとなり、三十日大連發は欠航となり、十一月十日大連出帆より平常に復することになつた

暫らく御無沙汰したのでゆふべ新京會館に行つて見た、十一時前だといふのに殆んど滿員といふ盛況であつた▲家族同伴の客が幾組か見られた、逸脱しない以上、健康な趣味であると思ふ、滿洲の多は長く、氷は家庭をとぢこめてしまふからである▲こゝの柴田マミー君に相當なパトロン志願者が現れたそうである、所が柴田君頑として對峙の姿勢を取つてゐるといふから頼もしい、まあ景氣のいい話▲ハリウッド繁昌であつた、あそこの何が人々をさう呼ぶのかを考へて見た、次には新京人の文化的生活の程度如何といふことまで考へさせられた

寫眞訂正

昨夕判所報大同學院卒業式寫眞と今朝刊司法部法學校創立一週年記念式寫眞は入れ違ひにつき訂正す

天氣と氣温

明日の天氣　西寄の風曇
日の出　午前五時五十五分
日の入　午後四時五十三分
月の出　午後八時三十一分
月の入　午前十一時三十七分
けふの氣温　最高　十一度　最低　五度七

誰が殺したか

(禁上映上演)

國枝史郎氏外二　龍造寺瞻畫

九九　第二の殺人　六九

星野の訪れる聲に應じて出てきたのは正常の妻の、君子であつた

『御主人は御在宅ですか？』

『どちら樣でございますか？』

『正常君がをりましたら、實はお父さんのところから、內密に、使ひに來たものですが……』

『ちよつとお待ち下さいまし』

君子は二階へあがつていつた。しばらくたつてから降てきた。

『それではどうぞ、こちらへおあがり下さいまし……』

星野は腹のなかでにつこりした。うまくいつたと思つた。

『御免なさい……』

『サアどうぞ……』

正常は机にむかつてなにか讀書してゐたらしかつた。

『僕は正常ですが、どういふ御用で……父は僕などに、用はないはずなんだが……どうしてまた、僕がこゝに住んでゐることがわかつたんだらうね……』

『それはあなた、たとへ、表面ではどんなに怒つても、やつぱりわが子であつてみれば、それは、どのくらゐ心配してゐらつしやるかわからないのですから……僕にお頼みになつて、あなたの居所をさがさしたのです。』

『さうですか、そしてあなたはどなたですか、先生ですか？』

『ハイ、私はかういふ者です』

星野は名刺をだした。

『なるほど、私立探偵……だから僕の、このかくれ家も、發見せられたといふわけなんですね。』

正常は苦笑した。

『そして、父が、僕にたいして用事といふのは……？』

『その用事を申上るまへに、ちよつとおたずねしたいことがありますが……』

『なんですか？』

『まづ申上げておきます。私は、私立探偵ですから、警視廳の刑事などとちがつて、決して御警戒なさる必要はありません、私に、どんなことをお話なさらうとも、警視廳へ通じられる、なんてことは絶對にありません、つまり、私の依頼された任務、といふのは、實は、あなたの身邊の保護といふことも、伯爵閣下の、お言葉の一つでしたから……』

『さうですか、しかし、父がなぜ僕を保護させなければならんのですか？』

正常は不審さうに、星野の顔を見つめて反問した。

『そこが、むしろ、あなたの方で充分におわかりのことゝ思ひますが……』

『なぜですか？僕は、父からの保護なぞ、おことわりしますね』

『ところで、正常さん！私がこゝへ來ると、入口からあなたのところを、うかゞつてゐた男がありました。見ると、それが、警視廳の花村といふ刑事で、知つてゐるものですから、どういふわけかとさぐつてみました、すると、正常さん！あなたは、今、ある嫌疑の眼をもつてみられてゐますよ！』

『なに、僕が嫌疑、そ、そんな馬鹿な……』

かう言ひすてた正常の顔色は、ひどく青くなつて見えた。

(この篇今野賢三作)

笑話

—確實以上—

乘客「これには、スピードメーターが付いてないやうだが、どうして分る？」

運轉手「そりや、すぐわかりますさ二十哩以上になると、ボデーがギシ〳〵鳴りだし、二十五哩以上になると、車體が三尺も飛び上り四十哩になると……」

—(間)—

小型映畫アーベント

「國都戀愛學第一課」を公開

十九日夜公會堂て

雜誌『高梁』を發行してゐる高梁社の後援により國都映畫研究會が撮影製作した十六ミリ『國都戀愛學第一課』は來る十九日午後七時より記念公會堂において公開されることになつたが、同映畫の主演者は新京會館のダンサー諸君をはじめ地元素人有志連の優秀どころで、原作は本社學藝部近東綺十郎君によるものである、尚この他に同じく十六ミリによる千黒藏の「瞼の母」が併映される筈であるが、この種映畫の公開は新京における最初の試みとして好評を博するであらう(雜誌高梁持參者に限り入場無料)

映畫と演藝

クを急いでゐた伏見信子、立松晃主演オールトーキー〃私のあなた〃は熱海に於けるラストシーンの撮影をもつて全部の撮影を完了した、同篇はユーモア文壇の流行作家中野實の原作を陶山密が御色したもので、全篇に近代的な明朗な笑ひを撒きちらすものである

▲田中監督「嗁く白鳥」着手　新興東京撮影所は、鋭才田中重雄監督の新作品として「婦人倶樂部」連載加藤武雄氏原作の長篇小說〃嗁く白鳥〃を陶山密御色、二宮養聴のカメラといふスタッフで獨占映畫化の準備に着手したが、主演者は高田稔、伏見信子、高津慶子、菅井一郎、清水將夫、浦邊粂子、菅原秀雄、雨澤美津子等である

▲伏見の「傷だらけのお秋」　新興東京撮影所では秋の特作として、三好十郎原作の戲曲〃傷だらけのお秋〃を陶山密御色、勝浦仙太郎監督の下に映畫化する、舞台で度々絶讃を浴びたこの傑作は新興の異色ある俳優陣の活躍によつて再び天下ファンの間に感激を新たにするであらう、カメラは行山光一、主演者は伏見直江

長春座……寫眞替り

長春座十六日よりの番組は左の如く二番線三本立と決定した

▲蒲田「限りなき鋪道」原作はかつて東京、大阪兩毎日に連載好評を博した北村小松になるもので、御色監督には成瀬已喜男が當り、キャメラは猪飼助太郎、成瀬の連載小說映畫化として相當期待された寫眞であつたと記憶する、主演者は山內光、忍節子等

▲下加茂「一本刀土俵入」衣笠貞之助作品、原作は長谷川伸、撮影は杉山公平、主演者は長二郎の他に岡田嘉子、高田浩吉、志賀靖郎等渡世人駒形茂兵衛がその昔はかなき取的時代に助けて貰つた姐さんに恩がへしをするといふ長谷川伸一流の人情ばなしである、千惠藏伏見直江のコムビと共に記憶に生きる作品である

▲蒲田「彼女と金塊」齋藤寅次郎の喜劇で小倉繁が盛んに笑はせるといつた例の趣向である

撮影所だより

▲「私のあなた」完成　新興曾根千晴督督の下にクラン

再び「にんじん」

ジュール、ルナールの戲曲「にんじん」の映畫化で、ジュリアン、デュヴィヴィエの監督作品であるが、デュヴィヴィエとしては「にんじん」の映畫化はこの作品が二回目である、無聲時代のものはみてゐないが、彼自身に言はせると今度の「にんじん」が最も自信のある作品なのだそうである、或は彼の本當の好みと言つたものは案外この方面に向つてゐるのかも知れない、この作品が最初に新京で封切られて以來、彼の作品としては「商船テナシチー」あたりが紹介されてゐるから、比較檢討してみても興味があらう、目下新京キネマ上映中—スチールはロベール・リナンの「にんじん」

映畫

「明日なき抱擁」

—パラマウント—

これは舞臺で成功した劇を映畫化したものと聞いてゐる。死神が三日の休暇を取つて人間になつて登場するこれはあり得べからざることだが、そこが劇の約束である、この事を理解して觀れば相當に頭にこたへるもののある高級映畫である。人間が魂を賣つて魔力を得るファウストに比ぶれば明日なき命と知りつゝ人間の戀にとらはれるこの死神はなんと人間的なことか！生ける者みた生の價値を知れと愛の力のおほいさを知れと說くイデオロギーは倫理的な教訓をさへ持つてゐる。一體に公式的な演技だと思つたが、フレデリック・マーチの表情と明晰な台詞が良かつた。(耶麿)

「逃げ水の彌三」

—日活時代劇—

御金藏破りに奪はれた一千兩の金を調達に買柄彌三郎が江戸へ漂然と旅立つと云ふのは腑に落ちないことである、原作がそうなのであらうが、物語りの發端がこんな理由のない所に置かれてあるために全體が浮いてしまつて寄り所がない、彌三郎は泥棒になつた事を少しも悔ひもしなければ、寧ろ當然のやうに振舞つてゐるし、山猫の陸助が身代りになつてくれても「お前の罪は帳消しだ」などと隨分我儘な事を言ふ、もつと變つた扱ひ方がありそうにも思へる、久見田喬二も筋を追ふだけで要所々々にチャンバラを挿入することを忘れなかつたに止まる、澤田清これまた映えず(N生)

「乾杯！學生諸君」

—東京發聲—

百パーセントに見榮を切つてゐる友情やスポーツマンシップは、これまでの總てのカレッヂもの同様觀てゐてさ程に苦にはならない、そして、この新しく出來た製作所の顔振れからみて、この第一回作品の企畫は最も妥當を得たものゝ樣に思はれる。が、たゞそれだけのことで、相も變らぬ似たりよつたりの題材にはもう新鮮味が乏しい、ラグビー試合における誤審問題が事件の主軸をなしてゐるが、これを手術台上の讒言に持つてゆくのはいゝとして、この邊りの錯雜した感情の經緯はもつと深く些細に描かれてゐなければならないと思へる、どちらか言へば結末を急いで、この邊りが一番等閑視されてゐた嫌ひがある、重宗務は先づ無難といへやうで、一休に覇氣が乏しいのは逆現象と言へやう、藤井貢の動きには自信のある伸び〳〵としたものが感じられなくなつた、演技が何んとなくバラ〳〵になりそうな氣がする、臨役では山口、三井、市川あたりが好ましい存在を示してゐた、第二作を期待。(N生)

雜音

新京龍春電影院で聯華影業公司作品「大路」が上映されてゐる、中國屈指のインテリ監督として日本あたりにも紹介されてゐる孫瑜の作品で「漁光曲」あたりと相並んで水準に達した傑作である、中國の作品に對してはどういふものか折角容易に觀得る機會に接しながら一般の關心が薄いやうである、愚作が多かつたり、言葉の難解によるものであらうがこれは何らかの方法によつて除去することが出來ると思ふ、アメリカ、フランス、ドイツもの等のオリヂナルものを上映する時のやうに說明をつけたつていゝ譯である、紹介するに足る映畫は何んとかして一般にも觀せたいものである、良い方法を思ひつかないものか

▲『この子捨てざれば』『彼女と金塊』『獨次喜多行進曲』等、この所齋藤寅次郎の作品が重複する、放奔止まる所を知らぬ彼の奇才は確に近代人の喜びである、單なる添もの以上に扱はれないといふのは、常設館自體よりも一般觀衆の頭が遲れてゐるからかも知れない、常設館の方針あるファン敎育が望ましい

今日の銀幕街

▲新京キネマ—十七日まで、ロベール・リナンの「にんじん」エノケンの「魔術師」アンナ・メイ・ワオンの「朱金昭」

▲帝都キネマ—十六日まで、バスター・クラブの「密林の王者」月田一郎の「やどり木」阪東妻三郎の「新門辰五郎」

▲長春座—十六日より二日間小倉繁の「彼女と金塊」忍節子、結城一朗の「限りなき鋪道」林長二郎の「一本刀土俵入」

居住消息

▲山崎正三郎氏(東京府)芙蓉町陸官五十一號へ

▲高田朝吉氏(島根縣)永樂町三丁目九番地へ

轉居

▲古賀喜八郎氏　吉野町から三笠町一丁目十二番地ノ二へ

▲高野圓藏氏　常盤町から室町二丁目二十五番地ノ三へ

▲中西平次氏　祝町から曙町二丁目十番地ノ二へ

▲小泉省三氏　永樂町から大和通り六十五番地へ

▲羽賀多氏　曙町から常盤町三丁目十三番地ノ四へ

▲島内宗義氏　入船町から吉野町一丁目十一番地へ

出生

▲渡邊貫一郎氏(菊水町三丁目二十六號)長女武子さん十日出生

▲馬場八潮氏(中央通十二番地)長男亮男さん九日出生

▲村田健四郎氏(永樂町一丁目八番地)男直樹さん一日出生

死亡

▲相良清子さん(入船町四丁目一番地)十四日午後四時三十七分死亡

▲松本龜一氏(曙町一丁目)長女佳子さん十四日午後四時五十分死亡

十月十七日　舊九月二十日　木曜　丙寅　佛滅　定　角宿

●一白の人　力以上の計畫を起し引くに引かれず後悔す　丁と庚と辛が吉

●二黒の人　氣運沈衰して事業の半ばに失敗を來たす日　丙と午と庚が吉

●三碧の人　氣を引き立て大に努むれば業務回復すべし　甲と乙と癸が吉

●四綠の人　物事の氣配り多ければ失策の隙を與へず吉　丙と丁と癸が吉

●五黄の人　期待に反したる結果も思はぬ援ありて好轉　午と壬と寅が吉

●六白の人　時の不可なるを輕視して失敗の上塗となる　甲と申と辛が吉

●七赤の人　萬事衰退の折柄なれば輕動は深く愼むべし　乙と申と丑が吉

●八白の人　策動に任せ勢に乘ずれば大失體を呈すべし　丁と庚と丑が吉

●九紫の人　攻防適當にして事業の成績を揚ぐる幸運日　丙と丁と癸が吉

廣告

鴨江流筏好成績
五千萬石突破豫想
未曾有の出水で

過般の鴨綠江大增水に今期流筏は甚大なる打擊を受けたが其後の江流狀況は未曾有の出水が與地管流を意外に進捗せしめたので却て禍は轉じて福となり、採木公司の如き加ふるに森林鐵道及びケーブルの施設充實によつて案外流筏は上成績に上るべく、目下の所最初の豫定數の十五萬石に帰早垂々としてゐる、筒筏數で此の分なら優に五十萬石を突破し六十五萬石程度に達するものと見られてゐる

森林事務所增設
―樺甸外三個所に―

森林經營に本格的な働きを見せつゝある實業部では資源開發に應じて森林事務所增設を企圖してゐたが、愈々近く樺甸、ハルビン、勃利の三個所に開設する事となつた、新設事務所管内の森林面積蓄積量出材見込量左の通り

△樺甸
森林面積　一八八、九九九、一四〇石
蓄積量　一〇〇、〇〇〇石
出材見込
△ハルビン
森林面積　四〇、五八九、四三〇石
蓄積量　四〇〇、〇〇〇石
出材見込
△勃利
森林面積　九二、一三五
蓄積量　三三九、四二一、一六五石
出材見込　一〇〇、〇〇〇石

尚滿化硫安は從來全購聯供給の分を除く外は東京、大阪、京城の三營業所及び滿鐵商事部臺北事務所を通じて賣り出してゐたが運賃其他の關係から將來は朝鮮賣込に力を注ぐこととなる模樣で同地にある朝鮮窒素との販賣競爭が必然的に惹起するものと見られてゐる

法亞銀行
三日間休業

【ハルビン國通】支店長ブヤノフスキー氏の自殺によつて法亞銀行は十五日より三日間臨時休業をなしてゐるがフランス領事館當局では同氏の自殺は何等銀行の營業狀態と關係あるものではないと語つてゐる、同行本店はパリにありハルビンは極東總支店である

哈市支店長
縊死を遂ぐ

【ハルビン國通】法亞銀行支店長ブヤノフスキー氏は十五日午後二時頃キタイスカヤ街の自宅に於て縊死を遂げた同氏は元露亞銀行のハルビン支店長を勤め現在ハルビンロシア取引所理事長を兼ねてゐるが同氏の自殺は曩に閉店した信濟銀行同樣法亞銀行も一般財界の不況の爲業績思はしからずその責任痛感の故ではないかと謂はれてゐる

大豆小麥とも
在荷薄

【ハルビン國通】ハルビン交易處調査に依れば十五日現在大豆在貨は僅かに九十二車、千五百十八噸にすぎない、然も之は全部油房の手持ち品であり市中に販賣される現物皆無の狀態である、一方小麥は千八百八十三車、三萬一千噸のストックを有してゐるが斯かる在貨の激減は目下端境期にありまた新物の本格的出廻り時期に至らず又松花江の減水、貨車繰りの不圓滑の爲で斯かる大豆拂底は十數年振りの現象である

ハルビン驛は
最近滯貨の山
貨車の運行圓滑を缺く

【ハルビン國通】ゲージ變更後哈鐵管内の貨車運行不圓滑に就ては特產出廻期を

控へ

特產商方面では頗る混惑してゐるが、十四日哈鐵特產商、銀行、運輸業者等集合して特產物懇談會を開催、今後の貨車繰りに就て協議した、哈鐵現在の貨物輸送量は北鐵當時の四倍に達してゐるに對し機關車及び機關手の不足してゐる上に京濱線が豫想以上に損傷して大連、ハルビン幹線輸送力が思はしくなくハルビン驛は滯貨の山をなしてゐる、日本内地に註文中の機關車卅六輛の到着は來年三月頃になる模樣であり機關手も目下内地方面で募集中であるが之も早急の間に合はず、北滿一帶の貨物輸送は現在の所全く行き惱みの態である、哈鐵當局の計畫通り輸送されても明年三月迄の特產輸送能力は百十三萬噸で尚百萬噸の滯貨を殘すものと云はれ鐵道當局は混保輸送に全力を注ぎ極力輸出者の便を圖る方針を採る筈であるが特產新物期に入つてから集產地に

滯貨

の山を築し荷捌け難に陷り特產輸出に非常な支障を來すものと見られてゐる

日蘇石油會社
成立す

【東京國通】日蘇石油會社(資本金百七十萬圓全額拂込)では十五日午前松方日蘇事務所に創立總會を開き取締役會長專務取締役松方幸次郎氏以下の役員を選任した、同社は當分の間松方日蘇事務所の營業方針を踏襲する筈である

滿化硫安
朝鮮に進出

滿洲化學では第二期增產設備の完成により硫安の年產能力が二十一萬キロトンに增大し從來の全購聯向十二萬キロトンの外、内地配合用に供給しても尚餘剩を生ずる見込なので、いよ／＼朝鮮、台灣方面へ進出することになり既に朝鮮に對しては八月第一回分として千三百キロトンの積出を完了、更に來る十一月第二回分千八百キロトンを新義州に陸揚げする豫定である、而し

日本フォード社は
將來擴張せず
米本社の方針

【東京國通】フォード自動車會社東洋總支配人コップ氏は十五日午前十時半商工省に吉野次官を訪問し自動車工業法に對する回訓を齎し、フォード本社の方針として外國人に支配權を與へるは反對であるから日本フォード社は現有勢力で經營し將來擴張せずと説明した

―村區の廢合によつて―
農村負擔を輕減
奉天省管下で着々進行

【奉天國通】農村整備改善に依る負擔の輕減は稅制改革後に於る緊急事項として奉天省公署では本年一月以來地方調査委員會を組織して

一、戶數　千戶
一、耕地　一萬八千天地
一、面積　五平方粁

を基準に村區の廢合調査に着手して之れが實施に努めつゝ

滿洲經濟夜話

一見、この夜話の範圍からはあまりに懸け離れたやうに考へられるかも知れぬが、暫らく筆者は世界經濟形成の過程へ一瞥を投げたい。

ヨーロッパ資本の旗印
世界貿易と植民地政策
資本主義發展の一原則

歐洲各產業國の内部に於いて資本主義的生產が生長發展して行くとともに、小手工業的小農的生產は漸次に驅逐されて行つた。そして、それと同時に、歐洲のすべての後進國ついではアメリカ、アジア、アフリカ、オーストラリアのすべての國々が世界經濟の中に引き込まれて行かねばならなかつた。一方から言へば、アメリカの發見、アフリカの廻航、東インド及び支那の市場、アメリカの植民、諸植民地との貿易、交換手段及び商品一般の增加が、商業に、航海に、工業に、未曾有の飛躍を可能ならしめたのでもあつたが、歐洲の新興ブルジョアジーは、自己の製品の販路を絕えず擴大せねばならず、この欲求のために地球の全面に驅り立てられ、いたるところに連絡をつくり、いたるところに根據地をつくり、又いたるところに聚落をひらいたのであつた。彼等は生產機關の急速な改善により、また著しく容易となつた交通により、總ての國民、最も野蠻な或ひは最も鎖國的を國民すらをも、資本主義文明の中に引き入れずには置かなかつた。彼等の商品の廉價であつたこと、それがまさに重砲のやうな威力を持つてゐた。それによつて擊破されないものはなかつた。すべての國民が、若し滅亡することを欲しないならば資本主義の生產方法を習得せねばならなかつた。これを學者は「ブルジョアジーは自分自身の姿に擬して世界を創る」と言つてゐるのである。世界貿易と植民地侵略、それが歐洲文明、歐洲資本の旗印だつた

人絹織物輸出高
前月より四割高

【大阪國通】人絹聯合會調査によれば九月中の人絹糸輸出合計は一、三四三、四〇〇ポンドで前年に比し六三、一〇〇ポンド減である、尚主要仕向地は關東州、英領インド、アルゼンチン、支那で一方人絹織物輸出高は三五、二八九四〇九平方ポンドにして前月に比し四割增である

と距離の遠隔等に禍され之が實施に幾多の困難あり今日迄に省下廿八縣中十八縣は前記三項の分擔輕減を目的とせる村の廢合を完了し殘り十縣に於ては目下之れが實施を急いで居る

日本證券業團
新京視察日程

滿鐵及滿洲中央銀行の招待にて來滿する日本證券業者視察團一行の新京に於ける日程は次の通りである

十月十九日(後五、三〇)新京着、大和ホテルへ(同七、〇〇)樂總裁邸小宴
二十日(前八、三五)新京神社參拜(同八、五〇)忠靈塔參拜(同九、二〇)衛戍病院慰問(同一〇、〇〇)(後一二、〇〇)財政部、中央銀行懇談會(同一二、三〇)滿洲炭鑛會社招宴(同二、〇五)國都建設局(同二、三〇)南嶺、寬城子戰跡弔問(同四、三〇)市内視察、(同六、〇〇)財政部招宴
二十一日(前九、〇〇)關東軍司令官、參謀長、參謀副長、大使館參事官、關東局總裁、關東憲兵隊司令官(同一〇、一〇)參内(同一一、三〇)拜謁(同一一、〇〇)國務總理、總務廳長、次長、參議府(同一二、〇〇)軍司令部招宴(後一、三〇)駐滿海軍部司令官(同一、四五)滿鐵理事公館(同二、〇〇)中央銀行(同二、四〇)交通部(後二、五五)外交部(同三、一五)民政部(同三、三〇)實業部(同三、五〇)市長(同六、〇〇)中央銀行歡迎宴
二十二日(前九、〇〇)公主嶺へ(後三、五〇)歸京(同四、三〇)軍司令部第三課(同六、〇〇)滿洲電業公司招宴
二十三日(前九、〇五)哈爾濱へ

長春漫語

街を步き「滿洲事變論功行賞公債高價買入」と書いた立看板を見た、利殖は個人の自由であるとは言へ、若し斯うしたことがやすやすと行はれてゐるなら、ば佗しいことだと思ふ、そのやうなものは單なる財貨を超えた意味を附與されてゐるからである、いはばそれは社會が彼等に贈つた感謝のしるしなのである、露骨な算盤珠ではじいては貰ひたくない▲遲れて來る内地紙が、大通會議で北支進出は慢々的でやることになつたと報じてゐる間に現地からは早くも十河信二氏に招電が發せられた、石本氏はもう向ふに行つてゐる▲多田司令官は先日、人間誰しも社會的任務があり、その所信を斷行すればよいのだと言つてゐる、支那の古語にも千萬人と雖も我行かんの意氣はあつた、ただ時に臆病で又時に冒險的なのを「資本」といふ、その資本を導くのは利潤である▲「色あせし葉を濡らすかや秋の雨」

土建ニュース

決定工事

▲三江省公署廳舍官舍電氣工事
落札　九千七百五十八圓
●需用處營繕科
九、八〇〇、〇〇　高橋電氣
一一、三〇〇、〇〇　滿洲電氣
一二、七四〇、〇〇　啓運工業
一三、八〇〇、〇〇　弘電社
一四、五六〇、〇〇　大阪電氣
　共榮商會

▲新京財衣町五、六丙社宅八戶改造工事、外三件
落札　六千六百圓
●地方事務所
八、四〇〇、〇〇　伊賀原組
九、三〇〇、〇〇　志岐土木
一〇、四〇〇、〇〇　辻組
五、三三〇、〇〇　丸山組
　草場組
右草場組は工事見積間違の爲辭退す

▲南湖大荒溝間砂利敷工事
落札　一萬七百圓
●國道局
　獅谷組

▲市立文廟小學校新築工事
落札　一萬六千四百十五圓
●市公署
一六、八四〇、〇〇　吉川組
一七、三〇〇、〇〇　東亞土木
一八、三六〇、〇〇　京城土木
一八、四〇〇、〇〇　杉本組
一七、八〇〇、〇〇　復新公司
一八、〇〇〇、〇〇　大安公司
一八、三五〇、〇〇　小西事務所
一八、四八〇、〇〇　共進組
一八、七五〇、〇〇　瀋陽公司
　復興公司

商況欄
(十月・六日前場)
海外經濟電報

倫敦銀塊　二九片八分三
同先限　二九片一六分七
紐育銀塊　六五仙八分三
孟買銀塊　六七留比二六分三
米英爲替　四弗九仙八分五
米日爲替　二八弗六八仙
米支爲替　三七弗二五仙
スチール　四六弗四分一
アナゴンダ　二一弗四分三
英日爲替　一志二片四分三
英支爲替　一六弗八分三
英佛爲替
印日爲替　七七留比八分五

▲米棉
現物　一一仙二五
十月限　一〇仙八七
十二月限　一〇仙八二
一月限　一〇仙八〇
三月限　一〇仙九三
五月限　一〇仙九七
七月限

▲印棉
ブローチ　二一七留比
オームラ　一九六留比
ペンゴール　一五〇留比

▲市俄古小麥
十月限　一弗三仙八分七
十二月限　一弗二仙四分三
一月限　九二仙四分三

▲カルカツタ麻袋
實物　二六留比一六分一
鐵筋　二三留比四分一

金銀市況

●上海標金
昨引　九三一、〇〇
本番　九三〇、三〇
歩　一九、〇〇
[illegible]

●大連金鈔票
現物　二二六、一五
寄付　二二六、〇〇
引　[illegible]
出來高　[illegible]
十月廿八日限　十月十三日限
寄付　二二六、一五
[illegible]

●大連鈔票銀大洋
現物　一二四、〇〇
出來高　[illegible]

●奉天國幣金票
現物　一〇〇、〇〇
▲十月廿八日限　不　中
寄　引

●奉天國幣鈔票
現物　一二七、一〇
▲十月十三日限
寄　引
出來高

●哈爾濱國幣金票
現物　不　中
▲十月廿八日限　十月十三日限
本寄　不
引
出來高

●安東國幣金票
現物　一〇〇、〇〇
▲十月廿八日限　十月十三日限
本寄　不
引
出來高　中

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回　賣買
第二回　賣買
第三回　賣買
第四回　賣買
▲倫敦
第一回　賣買
第二回　賣買
第三回　賣買
▲紐育
第一回　賣買
第二回　賣買
第三回　賣買
▲大連爲替
▲上海
[illegible]

▲阪神日米爲替
第一回　賣買
▲阪神日英爲替
第一回　賣買

株式相場

▲大阪株式(前場)
大新　東新　鐘紡　日産新　[illegible]
▲大連株式(前場)
大新　鐘新　東新　日産新　[illegible]
▲奉天株式(前場)
滿鐵　東新　大新　日新　五品　豆新　鐘新　滿鐵新
[illegible]

商品市況

▲大阪綿糸
▲大阪棉花
▲大阪人絹
●大阪期米
[illegible]

特產市況

●大連大豆
●同豆粕
●同豆油
●哈爾濱大豆
●同小麥
▲神戶豆粕
[illegible]

新京取引所市況
(十月十六日前場)

●大豆(一石値段)
●高粱(混合百斤値段)
●鈔票對金票
●國幣對鈔票
●國幣對金票
●國幣對鈔票
[illegible]

〔大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可〕

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

リースロス特使の使命失敗に歸す
遂にクレヂット設定案放棄 特殊事情の研究へ

【上海十五日發國通】英國經濟特使リースロス氏は上海到着以來三週間餘に亘り支那經濟界の實情を調査、支那要人と意見の交換を遂げたが其の結果、英本國から携行した支那の幣制計畫原案及び右原案に附隨するクレヂット設定案を放棄するに決定したと解される目下主として支那の特殊事情につき研究を進めてゐるが成案を得るに至らず同氏の使命は全く失敗に歸したと見られる

が十五日午前八時現在の開票の結果は次の通りである

自由黨	一六五	保守黨	四一	復興黨	一
共同聯邦黨	七	ソシアルクレジット黨	一三	無所屬	一
未定	一九九				

リースロス 近く北支視察へ

【上海十六日發國通】リースロス卿は在滬中調査事項も大部分完成したので一兩日中に赴京、目下南京にある蔣介石氏と初會見を行ふ事となつた南京滯在は約四五日でそれより北上して北支の金融財政狀態を視察北平より漢口に廻り更に南下して廣東方面視察の旅に上る事になつてゐる

北支問題 外務側の打合せ
天津て總領事會議
=來る廿五日頃開催せん=

【天津十六日發國通】上海會議後外務省側では廿五日頃在支各總領事天津に集合北支問題に關する打合會議を開催することに決した

會議には北平若杉參事官、天津川越總領事、濟南西田總領事、南京須磨總領事、青島出尻總領事代理出席それに駐滿大使館の谷參事官並に本省より堀內、守島兩書記官も加はり對支問題特に北支問題について具體的に懇議打合せを爲す筈で會議の結果は注目されてゐる

カナダ總選擧 各派得票數

【オッタワ十五日發國通】カナダ總選擧の結果は十五日午前八時を以て殆ど全部の開票を完了したが自由黨は總議席二百五十五の中百六十五議席を占め壓倒的多數を獲得した

日本の回答如何で英國招請狀を發せん

【東京國通】我軍縮問題對英回答にイギリス側が如何なる態度を示すかは軍縮の成否を決するものとして注目されてゐるが我外務當局は近くイギリスが本會議を招集すべくその準備に豫備的交渉を提議して來るであらうと信じてゐる日本の回答でイギリスが軍縮交渉の餘地ありと判斷せば豫備交渉開始並に本會議日取を決定し正式に各國に招請狀を發するものと信ぜられてゐる

對英軍縮回答 昨日英政府に手交

【ロンドン十五日發國通】海軍縮小會議招請に關する帝國政府の回訓は十五日午後ロンドン大使館に到着した、藤井代理大使は十六日イギリス外務省と打合せを遂げた上で午後クレーギー參事官を訪問し口頭を以て回答主旨を開陳した上、本省より到着した回答を手交する段取りと解される

首都に危機迫る
脅かす伊軍飛行機
ヂレタワ西方に飛來

【アヂスアベバ十五日國通】イタリー軍は第二段の作戰準備を進めると共に各地の空爆を續行してエチオピア軍に多大の被害を與へてゐるが十四日ヂブチ、アヂスアベバ鐵道要地のヂレタワ西方イレイルゴダの寒村に飛來し住民より二三發の銃彈を受けたが空爆はなさず飛去つた、これは今迄の內でアヂスアベバに最も近い土地への襲來で首都の空襲も近く實行されるのではないかと懸念されて居る

エ猛將ナシブ將軍
總攻擊令を下す

【ヘラール十五日發國通】伊太利領ソマリーランド國境に近いジジガに司令部を置いて居るエチオピアの猛將ナシブ將軍は十四日午後四時全軍一齊に攻擊開始の令を下した、ナシブ將軍が總攻擊の決意を抱くに至つたのはオガデン平原の伊太利軍の行動偵察の結果イタリー軍へはこの十一日間に烈しい空爆を加へながらも陸上部隊はエチオピア領に僅に十キロ侵入したに過ぎない事がわかつた爲で從つて、オガデン平原の決戰はジジガ、ガラハ一帶で行はれる筈である

エ軍二十萬
マカレの線に配備

【アヂスアベバ十五日國通】伊太利軍の南下を前にエチオピア北軍の總指揮官マンガスア將軍は二十萬の大軍をマカレ線に配備伊太利軍を邀擊する作戰と解されるが同方面よりの情報に依れば伊太利軍前衛部隊は既にアドワ、マカレ兩戰線間の中間ハウシンアバロの線迄進出して居ると傳へられ殊に伊太利軍は多數の戰車、裝甲自動車等を有して居るのでエチオピア軍は戰はずして後退して居ると云はれる

對エ國武器禁輸て 武器商人活躍
=十五日タンク四臺到着=

【ローマ十五日發國通】對エチオピア武器輸入禁止令の解除によつて各國の武器商人は活潑なる活躍を開始して居るが十五日にはボイベット型タンク四臺を積載した二隻の汽船がアデン港よりベルベラ港に着タンクは此處で陸上げせられヂヂガに向けて發送された

英支那艦隊 ド號、本訪問

【東京國通】英國支那艦隊所屬一等巡洋艦ドーセットシア號は十六日午前七時半橫濱港に入港した、乘組員は艦長モリー大佐以下士官四十八名、兵六百三十名である、十月一日威海衛を出港初めての日本訪問の途に上り別府、宮島を經て橫濱へ入港したもので廿八日迄滯在の豫定である

戰時輸出禁制品の品目表大綱決定
伊品ボイコット案審議は延期

通商分科委

【ジュネーブ十五日發國通】通商分科委員會は十五日午後第一回會議を開會通商斷交の具體案に就き檢討を加へた但しフランス代表の要請に基き豫定を變更してイタリー品ボイコット案の審議を延期し戰時輸出禁制品に就き協議を遂げ結局禁制品目表の大綱を決定第一回總會を了した、決定要旨次の通り

戰鬪行爲の繼續に必要な原料品を主として非聯盟國よりの輸出品目と聯盟國よりの輸出品目に區分し、前者に就ては非聯盟國政府の協力を要請する事とし後者に就ては聯盟各國政府に於て出來るだけ速かに輸出禁止を斷行する

委員會は十六日第二回會議を續行イタリー品ボイコット案に基き協議を遂げる筈

我在支武官暗殺の憎むべき陰謀發覺
憲兵隊大活動を開始す

【上海十六日發國通】來る二十、廿一の兩日上海に於て開かれる在支武官會議を狙つて我武官に危害を加へんとする某軍大陰謀あること發覺、當地我憲兵隊では關係筋と密なる連絡をとり水も漏さぬ嚴戒を行ふ傍ら右テロ團本據に向け決死的搜查を開始した

產業調查局改組案
來週總務司長會議へ

實業部臨時產業調查局では調查事務進捗につれ現在の機構では不備の點多く今回その職制を改正することゝなり準備を進めてゐたが、此程成案を得たので來週の總務司長會議に附議することゝなつた、今回の改正の主眼點は調查部門を擴大組織化するもので從來の總務科並に資料科を合して總務部とし、調查科を二分して調查第一部、第二部となすもので第一部に於ては經濟一般第二部は資源調查を主としてゐる、尙總務部長は過般滿洲國入りをした井上技正、調查第一部長は椎名理事官が簡任となり部長の椅子に座ることに內定してゐる

張國務總理 チチハルへ

【ハイラル國通】省長公館に地方視察の第一夜を過した張國務總理は十六日午前十時省公署に職員一同を集めて訓示十時四十分衛戍病院に傷病兵を慰問、次で興安省第一警備軍を訪問、正午宿舍にて晝食後午後一時卅分飛行場に向ひ二時發飛行機で省長以下官民多數の歡送裡にチチハルに向つた

梨本宮殿下 御出發

【京城國通】御來鮮中の梨本宮守正王殿下には師團對抗演習御觀戰後群山より御入城大日本武德會有功章親授式、全朝鮮消防組御視閱、武德會並に消防協會功勞者御召し等御多忙な御日程を滯りなく御終了、十六日午後十時五分京城驛發列車で御歸東遊ばされた驛頭には宇垣總督、今井田政務總監、植田軍司令官を始め官民多數御見送り申上げた

滯貨生糸の處分論擡頭

【東京國通】生糸高の影響は俄然支那糸進出を促進せしめてゐるが內地に於ても機業地はボツボツ休機を始めて居り他方には人絹糸の進出までも懸念されて生糸高の招來する影響は全く看過し難きものがあり最近業界一部から現在政府が抱藏してゐる滯貨生糸を處分して需給の調節を圖るべしとする輿論が漸次有力化して來た、現在既に原料繭の不足のため生糸の需給狀態は五萬俵乃至七萬俵の供給減となるので滯貨生糸の處分時期として需給の緩和からする生糸市價の訂正といふ意味からしても全く一石二鳥の適策といふので滯貨生糸の處分案は時節柄注目に値する

前鐵道會長古川翁 卅年ぶりの來京
條約當時の思ひ出話を聞く

ボーツマス條約の後始末で明治三十九年滿鐵附屬地を寬城子までにするか長春までにするかの談判のため活躍した前鐵道協會長古川扳次郎(七九)翁は鐵道視察をかねて十六日午後二時着列車で奉天まで出迎への令息古川達四郎氏に伴はれ、田中交通監督部長、令孫その他多數出迎へ裡に來京驛樓上の鐵道出張所長室で休憩してが元氣一杯で三十年昔の長春一寒村を偲んで懷古談を試みた

明治三十九年でしたから皆さんはまだ生れてゐなかつたでせう?ボーツマス條約の結末つけにいまの寬城子へ參りましたが當時長春などあるかないか判らぬ部落でした、勿論日本人は一人もゐなかつた、ロシア代表との交渉は寬城子に抑留してゐた客車の中でやつたものだ、滿鐵附屬地として寬城子までとる、いや長春までしかやらぬの交渉です、……この建物(驛舍)は長春かね寬城子になつてゐるかね、その當時の汽車は沿線に山まで輕便鐵道を敷いて山から切出した薪を運んでそれを機關車に焚いて走つてゐたものだ、いまはその山もないだらう、ボーツマス條約は關係した日本人は公私ともに今は皆死んで仕舞つて自分になつてゐる

なほ同翁は二、三日間常盤町二丁目の古川達四郎宅に投宿する筈である

明徵問題一段落と觀 來春の總選擧へ
政府一路邁進の腹を決める

【東京國通】政府は今回の國體明徵に關する再聲明によつて八月三日に發したる第一次聲明の主旨を一層明確にし所謂機關說の絕滅を期して邁進するの意氣組を示しこれを以て一應事態の收拾を爲す腹を決め縱くとも今次の聲明が政府と軍部の合作によるものであるのみならず國體明徵に關し政府の決意を明示したものであるから純心なる排擊運動者はこれを觀て政府の意のあるところを諒解し納得するものと期待し岡田首相を始め政府首腦部は豫定通り陸軍大演習後に豫算編成を終り來るべき通常議會に臨み來春の總選擧まで漕ぎつけて行く腹を決めた模樣である

五百萬圓の資本で大同林業更生
滿洲林業股份有限公司生る

額穆、敦化、樺甸及び寧安縣南端方面の林業統制の爲設立計畫中の大同林業公司は其後各種の事情により設立遷延してゐたが去る十四日關東軍に於る會議に於て出資關係其他を變更し滿洲林業股份有限公司として設立することに決し村上關東軍顧問は出資關係で日本大藏省と打合せるため決定案を携行十六日午前十一時二十分飛行機で急遽東上したかくて計畫後二ヶ年各種物議の種となつた同公司も此處に明るみに出、滿洲國の準特殊會社として更生することになつた、同公司の內容左の如し

一、名稱 滿洲林業股份有限公司

一、資本金 五百萬圓(內譯滿洲國政府二百五十萬圓、滿鐵百萬圓、東拓、王子、大倉で百五十萬圓)

一、事業區域 額穆、敦化、樺甸及び寧安縣の南端で將來とも現在の伐採區域を廣めることなし

一、社長は滿洲國政府の任命による

一、同社に專有區域內に於る森林、伐採、販賣の統制權を附與するが出材業並に小賣は行はず

東條司令官 巡視日程

新任關東憲兵隊司令官兼關東局警務部長東條英機少將は警務部長の資格を以て着任後初の各署巡視及警察官招魂祭參列を爲す筈である、日程左の如し

△十月廿一日 午前七時新京發、奉天憲兵隊巡視

△廿二日 奉天警察署巡視、關係方面挨拶

△廿三日 大連憲兵隊巡視、大連警察署及水上署巡視

△廿四日 小崗子警察 沙河口警察、大連消防署、大連各署及消防署員に訓授、關係方面挨拶

△廿五日 撫順憲兵隊巡視、旅順警察署巡視、關係方面挨拶

△廿六日 撫順にて殉職警察官招魂祭、永年勤續警察官表彰式、管下署長會議、武道對署試合

△廿七日 旅順にて武德祭、武道大會

△廿八日 飛行機にて午前十時大連發午後一時三十分新京着

松井大將明日來京

渡支の途滿洲國視察に上つた松井石根大將は愈々十八日吉林より來京廿一日迄滯京の上廿二日ハルビンに向ふ豫定

航空往來

▲木內豐氏(靜岡縣會社員)十六日午前發平壤へ
▲淺利三郎氏(新京會社員)同チチハルへ
▲須川秀二氏(同)同
▲西巷乃夫彥氏(東京)同ハルビンへ
▲和田健太郎氏(新京淸水組)同奉天へ
▲梶田芳昭氏(新京請負業)同
▲中野藤一郎氏(會社員)同ハルビンより
▲堀正武氏(新京官吏)同
▲芳林秀吉氏(ハルビン會社員)同午後同
▲原田幸吉氏(同)同

曲語

齋藤々々で人氣を呼んだ內地の府縣議選擧、政府與黨を以て任ずる民政黨が戰前より減じて純野黨政友會に凱歌があがる▼政友人氣あるに非ず、民政より人氣なきを示すに止まる政黨に對する國民の信頼は今や全く去つたと見てよい▼さて政黨凋落の後に來るものは何か!吾人は考へさせられる▼新京教化聯盟主催の敬老會がけふ盛大に開催される、招かれる高齡者百五十余名、各婦人會幹部總出で接待に努めることになつてゐるが、近頃にない結構な催しである▼由來わが滿洲といはず植民地に於ける女性の缺陷は、女性として修養の缺如からその生命とする優しさが足りないことだ▼これがために家庭生活が一層デカタンに流れ、その結果子弟教育に及ぼす悪影響は一層寒心に堪へぬものがある、その前途まことに憂ふべし▼けふの敬老會が眞に目ざめた婦人達の心からなる奉仕によつて、敬老の目的以外に、よりもつと〳〵大きな收穫の得られんことを吾々は竊かに期待するものだ

社說

家賃値下を斷行せよ
國都の發展を阻害するもの

「新京の家賃はべら棒に高いそうですね」と滿洲から內地へ行つた者は必ず聞かれる。新京の家賃はそれほど內地にゐる人々の間に大きな關心を持つてみられてゐるのである。滿洲旅行者の土産話の一つは新京の家賃の高いことである恐らく高いことでは世界一だといはれてゐる位だ、この事實一つが如何に國都の發展を阻害し邦人の滿洲進出の決心を鈍らしてゐるかは在滿邦人の豫想外である、その次が物價の高い事だ、家賃と物價の高いところに而も文化の低いところに人が集る譯はない、狹い內地に溢れるやうな人口が鬱積してゐる割合に而も建國工作の躍進的伸展や政府の熱心な對滿進出獎勵にも拘らず滿洲國は余りにもルーミイである、土地も資源も何もかも人を待つてゐるのに最近における邦人の滿洲進出は活潑とはいはれない、家賃と物價の高いことがこの大きな原因となつてゐるとすれば國策的見地からも當事者は大いに考慮しなければなるまい、それが又在滿邦人全体の利益でもある

◇

附屬地內の家賃、間代は一疊五圓見當であるが、大体一般市民の生計の約三割に當つてゐる、內地では東京、大阪等の大都會においても家賃は大體生計の一割から二割位で地方にあつては約一割を示めてゐるといふ現狀で新京は約半分に當つてゐる、而も諸物價が異常に高いので市民の收入は家賃と家賃以外の低度な生活費で一杯で貯蓄は愚か趣味や文化人としての生活に充てられる費用は全然殘らないといふ憂ふべき實狀である、これでは滿洲文化の設施は期待することが出來ないだけでなく在滿邦人の向上は望めないといふ事になる、家主側にいはせれば新京の建築費が高くて安い家賃ではとても採算がとれないといふのかも知れないが、いくら新京の建築費が高くても內地の倍もする譯はなし、又アパート經營者なり家主が短期間の間に極めて多大な利得を占めてゐるといふ多くの實例が、家賃を低下する余裕があることを證明してゐる

◇

衛生設備の點でも現在のアパート、下宿、貸家などは極めて不良といはなければならない、採光といひ便所の設備といひ台所と云ひ非常に不衛生なものが多い、當局ではこれ等保安、衛生上良くないと認めたものがあればどし／＼と改良もさせ處罰もする方針であるといつてゐるが、當局の態度は極めて消極的で申告があつてから善後處置を講ずるといふ方針であるが、社會生活上最も大切な住居に對してもつと警察當局の積極的な態度が望ましいものである、借家人下宿人側にしてみれば住宅拂底な折不平を申し出れば不利であるといふ弱味から不便や不衛生を忍んでゐるといふ有様で、かくては何時までたつても住宅難の緩和や住宅改善は期せられないことになる。よろしく貸家人も家主も取締り當局も全て大乘的立場から、國都發展といふ愛市精神に基いて家賃引下げ問題に善處すべきである

協和會の現勢（三）
第三次理事會席上
—呂中央事務局長の報告—

御歸還並に回 訓民詔の御發布に伴ふ國民慶祝或は奉戴の大會に際しての諸行事にも全滿の分會を動員して此の宗旨を夫々の方法にて徹底せしめましたが、去る九月の承認記念日を中心に、全滿の學生をして回訓民詔の恭錄競書大會を催し、各地に之が展覽會を開催し公覽に供したのであります、而して此の大會で選ばれた作品は今後日本に贈り日本各地に展覽會を開いて廣く之が意義を徹底せんと考へて居りますが、之等作品中最優秀六點が特に皇帝陛下の御覽を賜はつた事は本會並に恭錄者の深く光榮とするところであります、又同じく此の記念日に際し四大都市（奉天 吉林、新京、ハルビン）に於て地方雄辯大會を十五日に開き十八日にその優秀者を新京に集め十八日に中央大會を開きました、勿論この外の各地方に於ても夫々この種の會を開き其の主題を、詔書の意義の奉戴、或は建國精神、或は我國の國際的地位、或は日滿不可分關係等として之が徹底を圖り且つ中央よりも特別講演者を派遣したのであります

尙ほ回 訓民詔は全滿國民が擧げて銘記し實踐すべき久遠不磨の大詔でありますから、我が協和會は進んで之が實踐團体としての使命を擔ひ、建國精神の宣布徹底に邁進する覺悟であります、而して此の種工作に特に該當するものとして今迄行つて來た、宣撫工作、宣傳工作、教育工作を擧げることが出來ます

宣傳工作　この工作は究極する所思想戰にして建國思想宣化工作でありまして本會の恒常的工作に屬するものであります、唯適時軍政諸機關に於て特に大工作を實施する際其の宣傳班構成に與ふるだけのものではありません此の中昨年の軍政諸機關の治安肅正工作に際し本會の活動を報告しますに、東防衛地區治安維持工作には九月より十二月上旬迄該地區全圓に宣撫工作を致しましたのを始め拉賓線北部地區、東南防衛地區、東邊道地區等に經費と體力の盡し得る極限迄事心努力致しました　本年も全滿的に治安工作に伴ひ宣撫工作には全機關を擧げて參加することに決し既に實施に着手して居ります　教育工作としては前述した如く一般社會教化運動の外に全滿に日語學院を分會經營或は辦事處或は有力の寄附等にて經營致し既に相當數の人材を輩出し各政府、鐵路總局、諸會社に就職するもの、鄕村に歸り分會事務をとるもの、靑年團の事務をとるものと夫々社會の有用の士として活動して居り、事務局側へ卒業の將來の補導に努めて居ります、而して此の語學院は漸次實は名より一步躍出して公民學校迄進んで居り勤勞、勞作教育の徹底は學院に試作地を作るやら或は協和林を作つて植林運動の實踐をする等相當の轉化向上を示して居ります

第二厚生工作　この厚生工作とは建國の理想達成即ち建國精神作興換言すれば國民創造運動の完成過程上、起るべき國民生活上の諸種の摩擦、不便の排除是正の諸工作でありまして民族相互間、官民間、宗教官、勞資間の摩擦を排除し或は治安上、經濟上の民福を增進し民食の保護救濟助長等の各種工作がこれに屬します、厚生工作に屬するものは各種各樣でありまして、一面精神作興工作であり、また日常的な政治工作でありますが厚生工作に屬する諸工作を强ひて分類致しまして其の日常的行事を擧げますと左の如くなります

一、協調工作

この工作としては各民族間、官民間、勞資間民衆相互間等の摩擦紛爭を解決する爲めに絕へず努力して居ります、民間の紛爭摩擦解決は五族協和をモツトーとする本會の主要な任務であり特に力を注いで居ります、官民間に於ても或は土地の處理、租稅、法令の適用等に關して摩擦の生じた時は本會は協調の勞をとるのでありまして、官の側から見れば一種の宣德工作であり、政策の對民衆 透工作であり民の側から見れば一種の達情工作であり、同時に厚生工作であります、其他各個人間の民事紛爭や農民と地主勞働者と資本家間の紛爭解決にも努力して居ります、又勞資の集團で協調を目的とせる各種工作の爲めにも追々盡力しつつあります

七月中に於ける
關東州 滿鐵附屬地 人口動態調べ
—關東局官房文書課調查—

關東局調査による本年七月中の關東州及滿鐵附屬地における人口動態（婚姻、離婚、出生、死亡、死產、自然增加）の概要は次の如く婚姻二百六十八組、離婚十四組、出生二千四百八十七人、死亡二千二百三十二人、死產五十八人である、人口の增加に伴つて離婚もだん／＼增へて前月より四組の增加で一月以來八十八組に上つてゐる、出生、死亡死產いづれも增加してゐるが人口の自然增加數は內地の三百十六人を除くほか朝鮮人、滿人、その他外國人何れも減少で內地人の飛躍的發展を物語つてゐる

婚姻　內地人二二組、朝鮮人一組、滿洲人二四三組、外國人二組、總數二六八組で、之を前月に比較すると二〇二組を減少し又一月以降の累計一六四組を前年同期の總數に比較すると二一五組の增加である。

離婚　內地人三組、滿洲人一一組、總數一四組で、之を前月に比較すると四組を、又一月以降の累計八八組を前年同期の總數に比較すると一五組の孰れも增加である。

出生　出生は內地人六六二人、朝鮮人三七人、滿洲人一、七八八人、總數二、四八七人で人口千に付て一人六分である之を前月に較すると實數に於て三二二人、比率に於て二分何れも增加した、又一月以降の累計二一、〇五三人を前年同期の總數に比較すると五八五人の增加である、又本月の出生數を各人口千に付て觀ると內地人は一人九分、朝鮮人は一人一分、滿洲人は一人六分に當る、更に出生總數を男女別にすると男一、三四九人女一、一三八人で女百に付男一一八人五分の割合である。

死亡　內地人三四六人、朝鮮人七三人、滿洲人一、八一二人、外國人一人、總數二、二三二人で人口千に付ては一人四分で之を前月に比較すると實數に於て一八八人を、比率に於て一分を孰れも增加した又一月以降の累計一四、七二七人を前年同期の總數に比較すると一、四九六人增加である而して本月の死亡數の各人口千に對する比例は內地人一人、朝鮮人二人三分、滿洲人一人五分、外國人四分である、更に死亡總數を男女別に觀ると男一、二一九人、女一、〇一三人即ち女百に付男一〇〇人五分の割合である、然るに各性人口千に付ては男一人二分女一人七分の比率を示し却つて女の死亡が高率である。

死產　內地人三七人、朝鮮人三人、滿洲人一八人、總數五八人で之を前月に比較すると五人を、又一月以降の累計三六九人を前年同期の總數に比較すると二四人の孰れも增加である。

自然增加　出生の死亡を超過する人口の自然增加數は內地人三一六人、（朝鮮人は三六人、滿洲人は二四人、外國人は一人を孰れも減少）總數二五五人である、之を前月に比較すると一三四人を、又一月以降の累計六、三二六人を前年同期の總數に比較すると九一一人の孰れも減少である、詳細は別表の通りである。

丁杏盧漫筆（十七）
北支我觀（中）

北支五省に亘つて『北支人の北支』と云ふ看板の下に一種の獨立政權を造らしめ此の地域內より國民政府並に國民黨の勢力を全然驅逐する、云はゞ事變前の滿洲見た樣なものにする——此方針は大體論としては結構であるが實際的には相當困難を伴ふ問題である

×

北支經濟工作にしても採算の取れぬ樣なことは遣らぬと誰れかゞ云つて居るが無論の事である、西原借款或は此れに類似の經濟的援助は再び繰返すべきで無い、一時支那人間で『親日』とか『親英』とか云ふけれども、アレは本當は『親日款』又は『親英款』と云ふべきで日本や英國の金に親しむと云ふ意味であるとの說をなしたものであるが如何にも其通りで北支經濟工作などの觸出しで滿鐵からでも相當の金を出そうものなら所謂親日派が雲の如く集まつて來て如何にも賑かで何か仕事が出來そうな景氣を呈するであらう。然し軈て幻滅の悲哀に終ることは此邊の事例に徵して明瞭過ぎる程明瞭なことである、滿洲で排日の熾んな時に王永江は日本資本を歡迎こそすれ反對すべきでない、肥料に過ぎぬでは無いかと云つたが三十年も過ぎて收穫期が來たと思つて喜んで居ると相當利いて居る筈の肥料が變な方に取られて更らに大々的追加肥料を施さねばならぬと云ふのでも困る。『王何ぞ必しも利を言はん唯仁義あるのみ』は孟 でさへ押通せなかつたのだから幾ら日本人が賢明だからとて『王道樂土』一點張りでも甘く行く筈が無い矢張多少金を遣はなくてはと云ふことになるが、要は可成く死金を使はず金を活かして使ふと云ふ一點に歸着するであらう。

政治的には事變前の滿洲見た樣なものに——といふのであるが此が亦難物である、滿洲では三十年も掛かつて刻苦勉勵手習をやつたのであるから北支へ行つたら目を瞑つてでもスラ／＼と書けそうに思ふがそうは行くまいと云ふのは滿洲での手習は永い間ではあつたが其實黃勉强で何の役にも立たず、最後には手習草紙を引き破つておつ取り刀で起上つたのであるから手習の方では全然失敗である、其程手筋が拙く天品的惡筆であるから北支へ行つても同じ事だらう、或はモット下手糞の結果に成りはせぬか。

×

元來日本の對支政策にしろ對滿政策にしろ軍部主動は今日に始まらぬ、援段援張皆な軍部が主で外務滿鐵此れを援助したと云ふに過ぎまい。就中滿洲に於る援張政策の如き徹頭徹尾陸軍が支持し來つたものであるが其れがあの始末である、支那に『他人の爲めに嫁裳を裁す』と云ふ諺があるが日本は張作霖の爲め過去三十年間セッ／＼と嫁入衣物を縫ふて自分がオールドミスになるのも忘れて居つた、張が大元師の玉の輿に乘つたときには我が事のやうに喜んだが酬いられざる老孃の悲哀を消す譯には行かなかつた、件の憤恨が爆發しての滿洲事變である。

×

如何んな日本人でも支那人に對しては例の優越感丈けは持つて居るが扱、優越力になると頗る疑はしい、張作霖の周圍にも當時陸軍で愼重人選をした軍事顧問と云ふものが附いて居つた、本庄、菊池、松井、町野は云ふ人々は後年大將になり中將に成つたのであるから孰れも錚々たるものであるが此等の人々の優越感が無學文盲の張作霖一人の優越力に及ばなかつたかして引廻すべき筈のお目附役がアベコベに曳摺られて仕舞ふた、尤も此は軍人ばかりではない政實兩界切つての古强者であり智慧者である山本條太郎氏までか物の美事に背負投げを喰ふた、張の晩年當時滿鐵總裁の山本氏が北京に乘込で行き僅か十日間位の氏獨得の活動で數十萬元か百數十萬元かを使ひ遂う／＼或る契約に判を付かした、山條總裁は大得意で北京で張招待の大宴會をやり其席上で張作霖に對し閣下は卒伍（馬賊とは言はなかつた）より身を起して大元師に成り余は丁稚小僧から滿鐵總裁となつたとて最大級の讚辭を呈し御機嫌頗る斜めならずで天下の英雄使君と吾のみの概があつた、御用紙の滿日の記事でも張作霖などと呼捨てにせず必ず張さん張さんと書かした位であつたが同氏が大連に歸着し未だに會心の笑に浸つて居る最中唯一の股肱楊宇霆が京津の外人記者を集めて談話を發表した、其の談話によると我々は滿洲で日本關係の鐵道に對して一哩の延長をも許さぬ、張大師と山本總裁との間に何等契約と稱すべきものは無い、假に有つたとしてもそは一商事會社の長にしか過ぎぬ山本氏とのものであれば何等國際的に效力を發生するものでは無いと、土俵際迄引張つて來ての誠に鮮かなウッチャリであつた、山條總裁確かにギャフンと參つた——張作霖爆死事件の起きたのは此の後間もないことである。（寫眞は山本條太郎氏と張作霖）

商況欄（十月十六日後場）

金銀市況

●上海標金
前引 九六六、〇〇
後寄 ||
歩 ||

●大連金鈔票
寄付 三三七、七〇
引 三三七、九五
高 三三八、六〇
安 三三七、六〇
出來高 二〇〇万
▲十月二十八日限
寄付 三三七、八〇
歩 七、六〇　七、五五　七、八〇　八、〇五　八、三五　八、五〇
引 七、九五
高 八、六〇
安 七、六五
出來高 七五万
▲十月十三日限 出來不申

●大連鈔票鎭大洋
現物 一三三、〇〇　一三三、七〇

●奉天國幣對金票
現物 一〇〇、〇〇　一〇〇、〇〇
▲十月十三日限
寄付 出來不申

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回賣買 一二八、五〇〇
第二回賣買 一二九、〇〇〇
第三回賣買 ||
▲倫敦向
第一回賣買 一志六片一六分一
第二回賣買 ||
第三回賣買 ||
▲紐育向
第一回賣買 三六弗一六分三
第二回賣買 ||
第三回賣買 ||

大連爲替
▲上海向 一〇七、〇〇〇　一〇五、五〇　一〇六、〇〇〇　一〇七、〇〇〇　一〇六、〇〇〇
▲靑島向 一〇一、三五　一〇一、一〇　一〇一、三〇　一〇一、二〇　一〇一、二五

株式相場

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品新	一七、〇〇	—
豆新品	三三、九〇	—
鈔新	一八、四〇	—
東新	一六二、四〇	一六二、三〇
鐵新	一三三、六〇	—
滿鐵新	六〇、六〇	—
二新	三五、五〇	—
日靈	八三、一〇	八三、〇〇

▲奉天株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	一五、五〇	一五、五〇
東新	一六二、三〇	一六二、二〇
鐵新	一三二、〇〇	一三二、六〇
日新	八三、四〇	八三、一〇
大新	九八、五〇	九八、五〇
五品	一七、四〇	一七、三〇
豆新	三三、三〇	三三、一〇
電甲	一五、九〇	一五、九〇
同乙	一三、五〇	—
滿鐵	—	—
東拓	一五、〇〇	一四、九〇
東距	一三、〇〇	一三、〇〇
日會	五七、七〇	五七、五〇
滿興	四四、八〇	四四、九〇
滿毛	一四、六〇	一三、六〇
二新	三五、八〇	三五、八〇
優先	一七、六〇	一七、七〇

各地市況

●橫濱生糸
後場 寄 引
當限 九五五、〇〇　九五五、〇〇
先限 九三一、〇〇　九三〇、〇〇

●哈爾濱大豆
十二月限 一、〇四五 —
一月限 一、〇五〇 —
出來高 —

●同 小麥
十二月限 —
一月限 一、五三〇 —
出來高 —

●神戶豆粕
十月限 四、四〇 —
十一月限 四、三五 —
十二月限 四、〇五 —
一月限 四、〇五 —
二月限 四、〇八 —

新京取引所市況（十月十六日後場）

現物（一石値段）
定期（混合百斤値段）　寄　引
先物 大豆 二三、六〇 二車
九月限 — —
十月限 — —
十一月限 — 三、七五 二車
十二月限 — —
一月限 — —
高粱
九月限 — —
十月限 — —
十一月限 — —
十二月限 — —
一月限 — —
鈔票對金票 十三日限
二十八日限 — 一三八、七〇
引 — 一三八、七〇
出來高 万千 三万
國幣對鈔票 十三日限
二十八日限 — 七八、〇〇
引 — 七八、〇〇
出來高 万千 万

手形交換（十五日）
金票 三四枚 三六一、一三八〇
鈔票 四枚 一三一 八〇
國幣 一〇枚 一三一、一七四八

北滿

細胞組織による……新宣撫方針樹立

各縣の治安調査を基礎とし濱江省全力を傾注

【ハルビン支局發】治安肅正第一主義をふりかざして管内治安確保に大童の奮闘を續けてゐる濱江公署では、今回新たに治安對策として省公署内に治安工作指導班を結成し閻省長を班長として各廳科員を總動員して管内廿七縣一旗の治安肅正工作に乘出すこととなつた

之が具體的方策としては、先づ各縣當局をして縣治安工作隊を結成せしめて縣を單位とする治安肅正、宣撫工作の實をあげしめるを以て第一要件としてゐるが、之に對し省の治安工作指導班は側面的に指導援助する組織になつてゐる

面して之が具體的工作の手始めとして濱江省各廳の科員を順次に受持區域をきめて派遣し、先づ各縣の治安工作隊結成の指導をなすために適當の助言を與へる外に、各縣の治安狀況の調査、宣撫工作に要する資料の蒐集をなすが省よりの派遣員は一應調査完了とともに歸廳し調査事項につき治安工作指導班に報告をなすが、之が報告に基き更めて治安工作の具體策の決定をみることとならう

今回の宣撫工作は新省制度實施以來、最初の大掛りのもので工作の對象は一般民衆であることは勿論で、各廳よりの派遣員はそれ〴〵專門的立場より宣撫工作をなすもので、そこに從來の工作に見られなかつた嶄新味を發見することが出來る

之を要するに王道精神を細胞組織による宣撫網により民衆に徹底せしめんとするもので之が實績に付いては各方面から深甚の興味と期待とがつながれてゐる

ハルビンの國立農事試驗場 今年内に實現せん

【ハルビン支局發】實業部では哈爾濱に國立農事試驗場を設置すべく既に方針を決定してゐるが、これが實施の第一段の工作として、鐵路局經營の安達農事試驗場、哈爾濱化驗所、哈爾濱農事試驗場の土地建物の半分を借受けて諸種の試驗を行ふこととなり、今年内には諸施設を整備して國立農事試驗場の實現を見る筈である、この結果、實業部で各種の試驗研究を行ひ鐵路局側で耕作事業にあたることとならう

伊藤公のステツキ盜まる

【ハルビン支局發】伊藤博文公が明治四十二年十月二十六日哈爾濱驛頭で兇漢安重根に襲はれた最後の刹那まで携行してゐた由緒ある遺品のステツキが居留民會公會堂の陳列棚から忽然と盜まれた

紛失を發見したのが十二日午前九時同未明二時半までは確かに在つたと現認の證人四名までも出てゐるのに公會堂東西入口扉のアメリカ錠は固く閉つて外部から侵入した形跡はない、犯人は誰か何處から潛んだか握りに加工された燻し金と純金欲しさに盜んだか或は由緒ある遺品と狙つて盜んだか、日本の國寶的貴重品であるだけに市民に一大衝動を與へ稀有の怪事件としてセンセーションを捲き起してゐる

領警當局では上原司法主任指揮の下に刑事隊を入分に總出動すると共に滿洲國側とも連絡を取り捜査網の擴大强化を圖り犯人逮捕に大活動を開始してゐるが目下のところ暗中摸索と云ふ狀態で刑事隊の一行も手掛の把握に全智能を發揮して必死の捜査を續けてゐるが市民の關心は俄然怪事件に集中されてゐる

"治安狀況極めて順調" 海市で張總理語る

【ハイラル國通】地方政情視察に來海した張國務總理は十五日午後六時德厚福飯店に凌省長、烏爾金司令官外日滿軍並に蒙、鮮、露各機關要人六十餘名を招待、盛大な晩餐會を催したが席上張總理は左の如き挨拶を爲した

滿洲國建國以來四年、當地は治安狀況極めて順調であります惟ふに當地の發達は省内官民の協力と友邦日本軍民の力によるものと感謝する次第であります、今回私がやつて來た目的は大同二年以來不便且つ寒氣嚴しい當地に駐屯して滿洲國の治安維持に與つて下さる日本軍隊に感謝と敬意を表する爲めともう一つは省制改革後における地方情勢を視察するためであります當地の政情は極めて順調に發達してゐるのを拜見して滿腔の敬意を表します日滿兩國の關係は東洋平和の爲め絶對不可分のものであることは御承知のことと思ひます、當地には各國の方々が住んでをられ複雜なところでありますが滿洲國は何處までも一視同仁善政を布くもので今後も益々凌省長を輔佐鞭撻して頂きたいと思ひます

坂水警務科長着任

【ハイラル國通】興安北省警務廳設置により蒙政部警務科長より北省警務廳警務科長に榮轉の坂水梧郎氏は十三日着任、十四日春德警務廳長、明善保安科長等と共に日滿各機關を歷訪、新任の挨拶を述べた

南滿

お〻秋風ぞ吹く……凋落!貸家景氣

鐵路局員、電々の移轉で家主の夢破らる

滿洲事變後の大連は所謂滿洲景氣に煽られて著しく人口の增加をみたが、本年は恰もアパート洪水の奇觀を呈し大連民政署水道課に對し水道栓の申込みをなしたる者二千六百餘件の多數に及んでゐるが、鐵路局員の引越しについで最近電々會社の新京移轉に伴ひ二百四十餘戶ががら空きとなると云つた調子でさしも拂底を極めた貸家も北滿颪の肌に浸む頃ともなれば凋落の冷愁が家主の頭に去來するであらうと觀られてゐる

債權者團より……遂に最後通告 映樂館の紛爭續く

【大連支社發】既報映樂館の紛爭は遂に債權者團と現經營者桐谷氏間の意見に合致點を見出すことが出來ず決裂するに到り、債權者團より委任經營解除の最後通告を發し紛爭は愈深刻化するに至つた。

債權者團にては現在上映中の日活映畫による再映プロは十四日迄期限があるので之を認め十五日より斷然桐豆氏の手を引かせニツプトン映寫機を再度据付某洋行の手により經營を續行せんとするものであるが、今日では兩者間の感情問題も絡つて居るので桐谷氏側が無條件で解除に應ずることは疑問とされて居る

結局紛爭解決までは閉館の止むなきに立至るものと見られてゐる、此處に端なくも從業員問題を含み再び今春の醜い泥仕合が展開されんとしてゐる。

市制實施に伴ふ分科規定を審議 —奉天市公署の協議會—

【奉天國通】十一月一日より市制發布の内示を受けた奉天市政公署では最初の第一回審議會に於て市政發布後の分科規定の大綱を決定したので十五日午前九時より市長、參事官以下各科股長全部出席第二回協議會を開催、右分科規定の逐條審議を行ふと共にその外市政發布後に對する諸準備を進めてゐる、尙發布後の奉天市の決議は奉天市政の決議諮問機關として自治委員會があり市長の下に總務、行政、財務、工程の四局あり、その下に夫々所管各科が配置されるものと觀られてゐる

商店照明の研究會開催

【大連支社發】大連小賣業合理化委員會では照明に關する權威者を網羅し商店照明改善特別委員會を設け、街頭並に店内照明裝置の改善を行ふことになり十五日午後三時より大連商工會議所に於て第一回研究會を開いたが電業會社は之に絕大なる援助を與へることになつた

總局の收支公開は營業範圍に止めよ 社内に有力なる反對意見擡頭

【大連國通】鐵路總局の收支を全面的に公開する事については社内に有力な反對意見がある、即ち總局の經營下に入つた新線の莫大な建設費の利息支拂ひまで公開するのは滿鐵の資金繰りの上に有害無益で公開するとせば本營業線路の營業收支に止むべしとする意見である、總局の收支公開は未だ滿鐵の社議として審議されたものではなく從つて關東軍に對しても何等意志表示して居ないが公開するなら結局營業收支に止るものとみられて居る

內地だより 池上本門寺のお會式

恒例の池上本門寺のお會式は去る十二日行はれたが名物マンドレの行列等五六十萬の人出で大變な賑ひだつた

總局九月中の乘客數

【奉天國通】總局線九月中の乘客數は九十一萬五千六百六名、乘客收入二百萬三千四十七圓で前年同期の五十六萬七百八十七名、百一萬三千五百七十九圓に比し乘客數に於て三十六萬八百十九名、收入に於て九十八萬九千四百六十八圓の激增を示してゐる

宮澤地方部長各方面新任挨拶

【奉天國通】新任滿鐵地方部長宮澤惟重氏は十五日正午ヤマトホテルに在奉各機關代表者を招待、午餐を共にし新任挨拶を爲した

東滿

吉鐵の演藝班を愛護村に派遣 愛路思想普及と慰安の爲

【吉林國通】吉林鐵路局では第二段の特別愛路工作として演藝班を來る廿五日より十二月三十日まで管內全愛護村に派遣愛路劇、愛路童話等を上演村民の慰安旁々愛路思想を普及する事となつた

吉鐵管内に救急行李常備

【吉林國通】現在吉鐵管內各驛、各段には人員に應じて救急箱を備へてあるが匪襲其他大事故の頻發に鑑み近く管內各主要個所に五十人分の負傷者に應急手當を施し得る救急行李を常備することゝなつた

靑林、中久勝相踵で歸順

【吉林國通】圖佳線三岔口東方地區に蟠居する匪首靑林は近來日滿軍警の徹底的討伐により食糧難と行動の自由を失ひ去る十日夕刻四名の代表者を三岔口〇〇隊に派し歸順を申込み十四日靑林は部下二十五名を伴ひ小銃二十二挺、モーゼル一挺、彈藥八百發を提出し來つたので三岔口〇〇隊長汪淸縣長、民政部員等立合ひの下に歸順式を擧行、身柄は汪淸縣治安維持會に引渡した、又匪首中久勝も歸順のため十四日代表者を派遣し來つたが近く迫つた嚴冬蟄居期を前に彼等の自發的歸順は尙相當あるものと思はれる

眞の無痛分娩!

平素の精神修養が一番大切　お產にのぞむ姙婦の心得

世に「案じるより生むが易い」といふ言葉があります。これはお產が病氣でなく、生理的現象であるから、順調に經過すれば、何の苦勞もなく安產を遂げ得るものであるといふ事を現はしておるのです

併し又「お產に生み習ひなし」といふ語があります。これは前の安產の經驗から推して、次回も生むは易しと油斷して案じて用心しなかつたのが、仇で、難產となり、母親の命を犧牲にすることのあるのを示したのです。しかしながら今日の進步した醫學から見ますと、所謂「難產」となる「異常分娩」の大部分は、豫めこれを察知し、且つ避けることが出來るものです。だから姙娠したならば、

××××病氣の××××

自覺がない場合でも、一應專門醫の診察を乞ひ、且つ其の期間中その監督をうけるやうにすることが肝要です。俗に「腹を痛めた子」といふ語があります。「產する時は、額に小豆が三粒煮える」とか又「障子の棧が見えなくならねば生れぬ」とか云ふ言葉があります。お產には、その主役を勤める「陣痛」といふ「分娩力」を缺くことは、絶對に出來ないものです。この「痛み」あるために、子は生まれ、この「苦しみ」あるために、愛は生れます。「痛みのうちでも、お產の痛みほど

××××辛抱し××××

易くて、直ぐ忘れてしまふものはない。それは痛みの間に絶えず、休みがあり、その上小時間辛抱すれば、この努力の高貴な酬いとして、子供が輝いてゐるからだ」です。このお產の大半を負擔する力ある痛みを忘れようとする所謂「無痛分娩」は、天意に反して却つて母體及び胎兒に惡い影響を及ぼすことが多いもので、醫道でいふ無痛分娩は、難產の場合にのみ應用せらるべきものですから、安產を希望する母性は、夢

××××迷つてはなりません。その××××教養あ

代りお產に臨むには、男子が出陣すると同じやうな覺悟と武器とを必要とします。それには姙娠中攝生を守つて異常なきを期し平素の精神的修養及び訓練を忘れぬこと、分娩用具を豫めまとめておくこと出產開始の徵候を知つておく等の戰闘準備が完全せられなければなりません。お產の苦痛といふものは、平素の精神修養と覺悟とに伴つて、何人も堪へ得られるものです。そして分娩開始に當つて取亂すことなく

××××嚴肅な××××

氣持で、怖るゝことなく、安心して產床に就くことが肝要です。この心理を巧に助成すれば、『眞の無痛分娩』の域に達することが出來るわけです。

話の種

兩腕がなくても射彈の名手

不具の身でありながら、日常の身の周りの事は不自由なくやり了せてゐるといふ位の事はそれ程珍らしい例ではないが、アメリカの州會計檢查官は兩腕がなくて重要な地位を占めてゐる。彼は他人のする事で自分に出來ないものはないと傲語するだけはあつてペンも自由自在に使へば、大工仕事も負けずにする中でも彼が最も得意としてゐるのは狩獵で、彼は口に彈丸を含み、唇、齒、舌等を巧みに使つて裝塡し、獲物を認めるや、僅かに殘つて居る腕の先を特別大形の引金環に差入れて發砲し定めた標的を殆んど外した事はないと云ふ。

帝院第一回 常議員會

帝院第一回常議員會は去る十一日午前十時から上野美術研究所で開催、文部省關係添田文部次官始め赤間局長、淸水院長、西山翠嶂、鏑木淸方、小室翠雲氏外各委員參集開會した、寫眞は會場

××××お料理獻立××××

煎豆腐

これはお子樣お年寄どなたにも喜ばれるもので、お子樣の學校のお辨當に入れますのにもよろしうございます

△材料（五人前）
豆腐 二丁
隱元 少々
人參 少々
椎茸 二ケ
鷄卵
芝海老 三十
味淋、醬油、砂糖少々

お豆腐は布巾でしぼり野菜類はせん切とし、海老は皮をむき一緒にお鍋に入れ、まづ煮出汁で煮、後に味をつけ煎り乍ら煮ます。

ラヂオ　けふの番組

（M・T・C・Y 新京放送局）十七日（木曜）

●（朝）●
六、〇〇 ◎神嘗祭 建國體操（滿語）
六、一五 ラヂオ體操（大連） 引續き 入港船のお知らせ（大連）
經濟講演國際放送
七、一〇—七、一五 國內アナウンス
七、一五—七、三〇（アメリカより）（東京） 講演 日米貿易關係に就て 極東產業視察團長 前駐日米國大使 W・C・フォーブス
七、三〇—七、三五 國內アナウンス
一〇、四〇 清京 進行曲 外四曲 鬼齡家私 老生 姜花 掃松 絃子 于茂林 二胡 遲秋樵
一〇、五九 時報（東京）
一一、三〇 ニュース（東京）
一一、五〇 八雲琴（松江）

●（晝）●
〇、一〇 雅樂（東京）
〇、三〇 獨唱（東京） 四家文子 ピアノ伴奏 谷康子
一、鐘 二、ちんころ小犬 三、野燒の頃 四、秋 五、斑猫 六、躍るストップ
〇、五〇 野球試合實況（東京） 東京大學野球聯盟リーグ戰 ＝明治神宮外苑野球場より中繼＝ △備考 左の放送時間には中繼す
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
野球中止の場合は以下編入
〇、五〇 講談（東京） 勝田新左衞門 神田伯治
一、二〇 舞臺劇（東京） 加賀見山舊錦會 澤村宗十郎 南村源之助 高助 竹本連中 竹本重壽太夫 外
三、二〇 ニュース
五、〇〇 子供の時間 齊唱と獨唱 新京西廣場小學校兒童
五、二五 今晚の番組（日、滿語）

●（夜）●
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 氣象通報 番組豫告（日、滿語）
六、三〇 狂言（東京） 牛盜人 野村萬齋社中
七、〇〇 ミュウジカル・ドラマ（大阪） 愛の葬送曲 ＝桃谷演奏所より中繼＝（山田耕作原案 JOBK文藝課脚色）
七、五〇 浪花節（東京） 寬政曾我 木村重友
八、三〇 時報・ニュース（東京）
八、四〇 ニュース（滿語） 引續き レコード（滿語）
九、〇〇 劇 ＝疑計
九、四〇 趣味講座 公餘俱樂部票友（鮮語） 文藝と人生 李有根
一〇、〇〇 北滿の時間（露語）（哈爾濱）

雅樂

【零時十分東京】宮內省樂部

一、壹越調 調子
壹越調とは唐樂の音階の一にして、調子とは各調獨自の旋法を有する廣義の前奏曲なり

二、賀殿ノ急
この曲は仁明天皇の承和年中遣唐判官藤原貞敏琵琶を以て習傳せし所にして、旋律輕快頗る佳趣ある早四拍子（四拍）の曲なり。

三、胡飲酒ノ破
胡國の音樂にして酒宴の席に奏したるものなりといへり、承和年中勅を奉じて大戶眞繩、大戶清上の兩名樂舞を新作せりとの說あれども、恐らくは改作したるなるべし、序及び破の二章より成り、今日放送する破は形式旋律共に均齊せる早四拍子（四拍）の曲なり

四、小曾取
高麗一越調に屬する小曲

五、古鳥蘇
作者傳來共に詳かならず（一に高麗調子の曲と稱し）高麗四ヶの大曲の一にして延四拍子（四拍）なり。

「別れの曲」の後日譚

音樂ドラマ「愛の葬送曲」

ショパンの愛の生涯を描いた J・O・B・K文藝課脚本

（後七時大阪より）

山田耕作原案
沙見洋
東山千榮子
久野和子
土川正浩
ピアノ獨奏
合唱 大阪放送合唱團
管絃樂 大阪放送交響樂團
音樂指揮 山田耕作

一八四九年十月十七日この日はピアノの抒情詩人だといはれたるフレデリック・ショパンがパリで不治の病で斃れた日である。この記念すべき日に彼の殘した不朽の作品數曲の演奏を經とし、彼の愛の生活を緯とする新形式のミュジカル・ドラマを世に問はうといふこれがこの「愛の葬送曲」である。構想は山田耕作氏、脚色はBK文藝課、而してピアノ奏者としてシュナーベル門下の土川正浩氏を劇の主役としてショパンに沙見洋氏をジョルジュ・サンドに東山千榮子を起用し、これに大阪放送合唱團、大阪放送交響樂團を加へて山田耕作氏自らの音樂指揮下に特別な藝術的雰圍氣をつくり出さうとするものである。

◇……◇

一篇の梗概としてはこれは映畫「別れの曲」の後日物語ともいふべきものである。ジョルジュ・サンドとマジョルカへ戀の逃避行したフレデリック・ショパンは大自然のうちに二人の甘い戀愛生活を夢みてゐたがさてたつた二人になつて朝夕顏をつき合せてゐるとお互が藝術家一方は文學、一方は音樂をそれぞれの表現形式の異つた方面の藝術家だけに日一日と二人の精神生活に豫期してゐなかつた深い〳〵溝が出來てきた。然もショパンは肺をさへ冒されてゐたので肉體的にもサンドの情熱に耐えられなくなつてゐた。さうしたショパンの悶えを慰めてくれるものはたゞピアノだけであつた。或る土砂降りの雨の日だつた。ショパンは一人ピアノに向つてゐると愛玩の犬がしきりにほえて彼の足にからみついてくるので「お前もサンドのやうに本當の音樂は解らないんだね」とさびしく笑つた。そこへサンドが靴も着物もビショ〳〵に濡らして歸つてきたがピアノに夢中なショパンが顧みてもくれないので、カッとしてピアノのキイに手をおいて、ショパンの演奏の邪魔をしたことからたうとう二人は藝術論の口論になつてしまつた。かうした時ショパンのさびしい胸をかすめるものはポーランドの藝の戀人コンスタンシャであつた。二人は互に皮肉をいひ合つて互に互の藝術を罵倒した。「僕達の戀愛生活もたうとう墓場まできた」とショパンは二人の戀愛生活の死を諷するやうに葬送曲を彈きはじめた。窓外ではかうした二人の生活とは全く別世界のやうにマジュルカ島の娘等が麗に島の民謠を合唱してゐた。

◇……◇

このドラマの中に織込まれて行くショパンの作品は

五 エチュウド 作品十番 第五（黑鍵のエチュウド）
プレリュード 作品二十八 第九
ワルツ 作品六十四 第一（犬のワルツ）
マヅルカ 作品七 第一
ノクターン 作品九 第二
プレリュード 作品二十八第六（雨だれのプレリュード）
フュナラル・マーチ

等で、このドラマのために山田氏が特に編曲した前奏曲、主題歌から劇は展開されるのであり劇中、「マヂョルカの娘の三重唱」などに色彩を添へながらショパンの終焉を象徵するにふさわしいフュネラル・マーチの中にその愛の生涯を終るのである。

右……沙見洋
左……東山千榮子

（東京）
八、三〇 子供の時間（名古屋） ラヂオ見學 秋の穫入 ＝愛知縣安城町縣立農事試驗場作業場より中繼＝ 岩槻信治
九、〇〇 記念講演（東京） 神嘗祭の意義とその御儀式に就て 佐伯有義
九、一〇 趣味講座（東京） 江戶の菊細工 三田村鳶魚
九、四〇 講演（東京） （一）村民一致して經濟更生に邁進 富山縣射水郡淺井村長 麻生正藏 （二）我が町は斯くして難關を打開 香川縣木田郡川島町長 宮崎園之祐
一〇、一〇 子供の時間（大連） 口琴獨奏（滿語） 松野志喜留

西廣場校兒童の「齊唱と獨唱」

後五時からの 子供の時間

一、齊唱（六年女子）佐藤富美外十三名 伴奏 齋藤先生

(イ)故鄉（文部省選定）
1、兎追ひしかの山 小鮒釣りしかの川 夢は今もめぐりて 忘れがたき故鄉
2、如何にいます、父母 恙なしや、友がき 雨に風につけても 思ひいづる故鄉

(ロ)秋の夕暮 齋藤一正詩 長妻完至曲
1、暮れゆく秋の 丘の外 櫟は赤く 夕映えて 馬引きかへる 人々に 兒の微笑み 交りたり

二、齊唱（二年女子）道岡菫外十一名 伴奏 勝浦先生

(イ)こうりやんさら〳〵（滿洲唱歌）
赤い夕日の雨上り 露がきら〳〵光つてる 使ひのかへり唯一人 かうりやんさら〳〵ゆれる道

(ロ)あの町この町 野口雨情詩 中山晋平曲
あの町 この町 ひか暮れる 今來た この町 歸りやんせ（以下略）

三、齊唱（五年女子）小館美智子外十三名 伴奏 齋藤先生

(イ)秋の蝶 橋本白柿詩 室崎琴月曲
1、照る陽の光り 薄ろぎて 風冷かに 草を吹く 堤の花の 淋しさに 舞ふさまあはれ 秋の蝶

(ロ)南滿本線（滿洲唱歌）
1、春は南から 杏の花で 多は北から 氷柱で知らす 詩の列車が からん鐘を 鳴らしてむへるよ 南滿本線
2、神の御使 平和のしるし 「はと」はよく飛ぶ かはいゝ鳥よ 和みうるほひ たゞ一筋に 綠野走るよ 南滿本線

四、獨唱（四年女子）河原地佐登美 伴奏 齋藤先生

(イ)唐きび畑 酒井良夫詩 長谷川鮫彥曲
1、唐きび畑の 入日どき さら〳〵鳴る葉の 川添へを 赤い支那服 着てる子が ほろり幌馬車 乘つてゆく
2、唐きび畑の 影ふんで そろ〳〵歸ろよ お家まで 赤い支那服 着てる子の ほろり幌馬車 どこへゆく

(ロ)お月さん 中西芳朗歌 杉山はせを曲
1、お月さん お月さん 何見てる にこ〳〵笑つて 何見てる お月見だんごの ごちそうを 食べてる子供を みてゐるの
2、お月さん〳〵 何見てる なみだをうかべて 何見てる 村の榎の 木の下で 泣いてろみなしご みてゐるの

五、合唱（五六年女子）加藤孚美外二十三名 伴奏 齋藤

(イ)老松（文唱）
春はみどりの 包めでたし 夏は木かげに 暑さ忘らる 雪のあしたも 月の夕も 眺めゆかしき 庭の老松

(ロ)村の夕（井上武士作曲）
宵月の 影もあはく 日は暮れぬ 夕をつぐる 寺の鐘の 音もかすかに 夢にも似たり 村の夕

浪花節

寬政曾我 木村重友

【後七、五〇東京】

武州の目明し神樂獅子吉五郎の義俠に依て熊谷土手で雪の中、病氣で苦しむ所を助けられ武士は丹後宮津の浪人で吉岡淺之助と下郎忠助の二人であつた。親の敵をたづねて永年の道中吉五郎の情にしばらく世話になつてゐたが、吉五郎の義理ある母との不仲から是非なく吉五郎の知邊で鴻の巢に一時送られることになつた

別れをつげて途中さしかかつたのが熊谷土手、吉五郎の乾分で多助といふ者がふとした吉岡淺之助の情に改心致し、吉岡が尋ねる敵青山岡書並に大島喜十郎の居所を敎へ敵討の手引をするといふ多助の返忠、熊谷土手での仇討手違といふ寬政曾我吉岡苦心の一席。

四家文子さんの 獨唱六曲

零時三十分より東京

◎…ピアノ伴奏…谷康子さん

一、鐘 西條八十作詞 小松耕輔作曲
夢見るひまは異國も ふるさととなるぞたのしけれ さめての後に一人嚙む 朝のパンの味なさよ 青葉の上の大空は けふも晴れたり鐘はなる わが兒の齡を偲ばせつ 遠く七つの鐘は鳴る

二、ちんころ小犬 三木露風作詞 山田耕作作曲
ちんころ〳〵小犬よ小犬 小鈴をつけて遊べよ遊べ チャラ〳〵 ちんころ〳〵小犬よ小犬 尾をふり〳〵遊べよ遊べ 家の御門の雀が見てる チュッチョン〳〵チュ ちんころ〳〵小犬よ小犬 尾をふり遊べよ遊べ 山にも海にも町にも野にも 空の果から小雪が降るよサラ〳〵

三、野燒の頃 北原白秋作詞 宮原禎次作曲
山は野燒かまだ春寒か 逢はず歸るか夜のふけか 野火のチョロリ火一山越して 燃えて行たやら消えたやら 野火の火空のうれた頃か 明けの山鳥ほろと鳴く

四、秋 上田敏譯詞 長谷川良夫作曲
今日つくづくとながむれば 悲しみの色口にあり 誰もつらくはあたらぬを 何故に心の悲しめる 秋風渡る青木立 葉波ふるひて地にしきぬ 君が心の若き夢 秋の葉となり落ちにけむ

五、斑猫 深尾須磨子作詞 橋本國彥作曲
斑猫です〳〵 南の國の夏の日ざかりに 甘え、ふざけ こびる斑猫です 色の主題はとり集めた焦點の黃色で 取合はされるのが 濃靑と臙脂とそして紫です 斑猫です〳〵 誘つては逃げ〳〵巧みに身をかわし 身をそらし 捕へようとする手の 尺ばかりを つねに先がけ つねにあとじさり 斑猫です〳〵 花よりもきれいな 寶石よりも美しい そのくせ捕へ手に死を 與へる怖しい しかしたゞ一匹の昆蟲です うまくつかまへて 襟飾りにでもして下さい

六、躍るストック 館美保子作詞 伊藤能矛留作曲
どいて!どいて! ぶつかられて惡いもの みんな其處どいで! もちそちらがおどきになるのよ 何しろ滑るんでやりきれやしないの 起きても〳〵すぐに轉ぶの 兩足を宙に揃へて! 規則正しく! えゝそりや新米にきまつてゐますわ だけどいゝのよ 蝦夷っ兒はたゞ 意氣込みで、みんなこの意氣でやつつけるのよ、ね 見てらつしやい! この腕、この脚 モンブランの嵐なんかよりは もつともつとすごい吹雪が鍛えたのだから、 あゝ晴朗!空が素的とてもあをいわ、何處かうしろで新鮮な陽がかゞやいてゐるのに、雪がチラチラ魔術みたい…… 新しいやわらかな雪に、ほいつぺたを、つけると、雪つ匂ひがうつとしてくる 雜木林と二月の風とが、額が、ほれろ、あ、ストックが、あんなところに、ふつ飛んでゐる!

文藝

新京ラヂオドラマ研究會
第四回放送脚本

嵐 (二景)

千葉一子

時─現代十月の末
所─新京
人物─相良健二(二十二才)
姉　道子(二十五才)
ダンサー─小夜子(二十才)
友人　小山利夫(二十一才)
女中　お春

第一景

小山利夫の下宿─"銀座の健"と言へば二月前まで幅の利く兄さんだつた健二は今新京にあつて昔の仲間"ドスの利"小山利夫の食客になつてゐる。小山は今年の春、與太者の足を洗つて今は眞面目なサラリーマンだ。二月前に飄然と新京に渡つて來た昔の兄分健二のために何かと奔走をしてゐるが、健二は何故か落つかず何となく不安が二人を包んでゐる、と言ふのは健が新京に來るに就ての事件─やくざの世界の顔爭ひから賣られた喧嘩を買つて出て、健は相手の男"ハッタリの安"を正當防衛とは言へメリケンの入れ所が惡く相手はそのまゝ息絶え、健は仲間の誰にも知らさず一路新京へ─。

そしてある日夕方が來て燈火が北滿の街に瞬き出した頃─嵐に近い風の音

──慌てた足どりで利が歸つて來る、ドアの音)お、ひでえ風た兄哥、兄哥

──なんだい、慌てゝ

──なあんだ、ゐたのかい兄哥……あゝよかつた。外出してる譯はないと思つたのに途中まで歸つて見ると室の電燈がついてゐないので、ヒヨットしたら……と厭な想像をしてドキッとしたぜ。

──いつも、お前に心配かけて濟まねえ

──兄哥、又考へてゐたのかい余り考へるのは身体に毒だから止しにしようよ……(間)……あ、小夜ちやんに來て貰つたんだつたつけ……兄哥、ゆつくり話でもして、元氣を出してくれよ、

──利、恩に着るぜ

──なんの、こんなことが(利ドアを開けて小夜子に聲をかける)小夜ちやん、さ、寒いからはやくお入りなさい、ひどかつたでせう?

──おや、どうしたの、泣いてるぢやありませんか……ハヘヘ此處に來たら泪は禁物だ。さ、それぢやいけないよ分つてるね

──(聲を落して)…今し方話したことひとつ頼むよ。!

──あに人を殺したと言つたつて、調べて見りや分ることだが相手はヤクザの風上にも置けねえような卑怯な奴で、先方がドスで突いて來る奴を、素手で防いで十八番のメリケンが思はず入つちまつたつて譯た、自首さえして出りや立派な正當防衛だ。よかれ惡かれ人を殺めたんだから。隱れてゐるつて言ふ手はないよ。潔く自首して立派に調べをうけてその上でお上の仰せ通りに勤めてさ、一日も早く青天白日の身になつて出て來て貰ひたいんだ。─な、小夜ちやん、こゝ暫くの別れは辛からうが歸つてさえ來りやあ(昔のヤクザの調子出て來る)俺がついてるよ。もう今はお前さんより他に自首をすゝめてくれる人はないんだ。さ一つ、奥の部屋へ行つて、一つすゝめてやつてくれたのむよ。

──ねえ利夫さん、健二さんはきいてくれるかしら……

──兄哥を動かすのは今の場合君よりないんだ。なあに大丈夫だとも…そして立派な身體になつた上でみんな仲よく暮すんだ─さ一つ小夜ちやん元氣を出してくれ

──やつてみるわ。……健二さん健二さん……入つていいこと

──ああ、入れよ

──(唐紙の開く音、風の音)まあこんな暗いのに、また電燈もつけないで、どうしたと言ふの……

──お前何か。俺に言ひたいことがあるんぢやないのか

──ええ……ええ、健さんお願ひがあるのよ、聞いて下すつて?

──お前の言ひてえことはみんな分つてるよ。何にも言ふなよ、何にもきゝたくない

──どうして?

──それよりも俺から君に頼みてえことがあるんで來て貰つたんだ。……一寸利を呼んでくれ

──(唐紙をあけ)利夫さん健二さんが一寸來て下さいつて

──兄哥、俺一寸、外に出て來るよ、

──何を言つてやがるんだ。俺たち二人おいてこの風に外へ用事もないもんだ。まあ、此方へ一寸入つて、一緒に話をきいてくれ

──(利夫入つて來る。唐紙のしまる音、三人座につく、風遠くで唸つてゐる)利一寸タバコをとつてくれ(マッチをする音)ありがとう……いや、話と言ふのは他ぢやないんだ、俺があゝして出入りをふけて、新京へ來たばつかりに、利には親身も及ばぬ心配をかけて、

──何を言つてるんだい兄貴

──いや、全くお前にも小夜坊にも濟まねえと思つてゐる……然しあの場合あゝでもして相手をやつゝけなけりや、俺の生命が危かつたんだ。俺が殺されるとこだつたんだ。俺は其點ではお前たちにも喜んで貰つていいと思つてゐる。俺だつてそれについちやあ、立派に自首して出ることも今漸く分つたんだが、當座はすつかり氣が顛倒してしまつていきなりハマに逃げ出して氣がついて見りやあ、大連直行の貨物船に便乘してつて仕儀だ。今でこそ意氣地がねえ、しつこしのねえ自分のぶ様が笑えるが、當座に閃めいてゐたのは(間風の音)……いや話の順序が狂つたが實に俺のたつた一人の姉で俺とお袋のためにも、六年許り前たつた一人で滿洲に稼ぎに來たのがゐるんだ。最近の風のたよりに、その姉が新京にゐると聞いてたので矢も楯もなく會ひたくて、その一心で逃げる氣持になつてたんだ。新京にゐるとは聞いてゐたが、何をしてゐるのやら、お袋も何故か教へてくれねえし、やくざになつて身體が危ふい瀬戸際に、たつた一目會ひてえと、俺は氣狂のようになつてしまつてるんだ。

──まあ、そんな事情は少しも聞かなかつたわ

──いや、兄哥も人が惡いや俺らにだつて一口もそんな事情を話してくれねえで、この二月そは／＼し乍ら夜になるとカフエーやダンスホールに繁々と出入りする兄哥を實は恨んだこともあつた位だ。ハハハハ兄哥、惡く思はねえでくんなせえ。

──何の惡くなんぞ思ふもんけえ。その姉が俺の學費を母子の生活費と言つて毎月欠かさず五十圓から百圓近くの金を送つてくれてゐるんだがその姉がどうして暮してゐるやら、優しい溫和しかつた姉と二人で大きくなつた日を考へると、

──ほんとうにねえ(泪をふく)

──全くだ兄哥どうせやくざに落ちるようなものには家庭的にいろ／＼の複雑な事情のものが多いんだからねえ。

──實は今日まで色々心配かけたし、君たちの心持に叛いたようで濟まないが、その一人の姉に會ないではどうしても自首して行く元氣がなかつたんだ。……この二月俺はその望み一筋に一日のばしにこうして不安な日を送つてゐるんだ。利、その氣持は分つてくれるだらうなあ

わかるよ。よく分つたよ兄哥、何にも知らねんで色々のことを言つて兄哥を苦しめて濟まなかつたなあ、兄哥許してくれるかしら

──何の、又利の弱氣─そんなこたあどうでもいゝんだ俺とお前の昔からの間柄だ……それよりも今日お前に小夜坊を連れて來て貰つたのは、一つ俺の力になつて俺の姉を探す力をかして欲しいのだ。……姉は俺に双兒のように似てゐるそうだ

──あ、そう言へば

──心當りがあるかい。左の眼の下に大きなホクロがある女だよ

──まあ

──知つてるのか

──乾度そうだわ。妾と街のお湯屋でよく一緒になる女の方で、綺麗な色の白い溫和しい方

──そうだ、そうだ。

──きつとそうよ。面長の綺麗な不二額

──それに違ひない。どこに住んでる人か知らないか。

──はつきりは知らないけどきつと三笠町三丁目の滿蒙公司の裏あたりぢやないかしらと思ふんだけど、

──そうか、そこまで知れりや後は簡單だ、すまないが若し明日でも會つたら一つよく訊ねておいてくれ、頼むよ。

──大丈夫よ。中日だつてお風呂にかんばつてきつと探してあげるわ

──すまねえ。そう聞くと俺もこうしちやゐられねえ。一つ之から出かけて當つてみよう(風益々激しくなる)ひどい風になつて來やがつた。おやもう七時ぢやないか。小夜ちやん、もう出勤の時間だらう。途中まで送つて上げよう。今日は濟まなかつたな

──妾のことなんか構はないわ……でもその姉さんの居所が分つたら

──うん、その時は立派に自首して出るんだ。小夜ちやんお前の心持を無駄にしやしねえ、利や姉さんと仲よく待つてゐてくれ、必らず歸つて來るよ。俺はそんな男ぢやねえ

──健二さん

──なあに、自首して出りや長い別れにはならないよ。身體に氣をつけて、丈夫でさえゐりやあ必らず逢えるんだ。そうなりや俺も今度こそ生れ變つてグレの足は綺麗に洗ふよ。眞面目まつとうに働きやあ君と二人位餓死もしやしまい。それまでの辛棒だ、辛いだらうがよく聞き分けて待つてゐてくんねえ、なあ利

──そうだともさ。兄哥の氣性は昔からよく知つてるんだ。後には僕もゐるし、姉さんもゐるんだから、小夜ちやんのことは立派に引受けるよ。

──健二さんを疑ふ氣持は少しもないけど、矢つ張り別れなければならないと思ふと一日の別れだつて辛いもんよ

──ヘヘヘヘ、違えねえ。然しだ。別れが辛いだけ今度會ふ時が余計嬉しいだらうさあ、別れの辛さを考へねえで、會ふ時の嬉しさを胸に畫いて待つてゐんだ─(嵐全くひどゝなり唸つて行く)さ一緒に送つて行かう我慢してな。な、これもみんな俺の故なんだ。濟まねえ濟まねえ。

──健二さん(わつと泣き出す。嵐の中に幕)

─明月爽夜、胡弓を聽いて─
文藝座談會記
好榮美酒の五香居て

わが社學藝部が文藝座談會の催しをはじめてはや四回、本月の例會は時まさに深秋、いささかの中國式飯菜を備へて淸らかな酒を酌みつゝ語るも又良きなりと、房屋は傾いてゐるがその廚師傳の腕に新京一の定評ある、滿人花街の一隅五香居飯莊に所を定めて去る日曜十三日の午後六時からこれを開催した。

この日、同好の士豫想以上に參集、紅一點の詩誌「ごろつちよ」同人岡村女史を加へて二十一名、まづ本社學藝部近東綺十郎君起つて開會の挨拶を述べ高木恭造氏を紹介更に奥一君主宰「高粱」の躍進を報告した、それより二つの圓卓の席の順に各自自己紹介に入り、中にも高木君はその詩作の史的發展を述べつゝ日本詩壇の現狀を論じて自己向後の展開の道を指示し、奥村義信君は「滿洲にもはや文化の時代來る」と叫び、室町哲二君はいはゆる舊政權派の一人として今後に於ける抱負を言ひ佐藤岩之進君は高木君との古く深き交渉から文學に對して秘め持つ情熱をほとばしらせ大內隆雄また高聲に日滿青年協力による文學の建設への意圖を論述した。はてはては「滿洲に來て今夜ほど嬉しい會合はない」と序して高木君、そのかみオペラ華かなりし頃の田谷力三張りの歌を山谷以上の聲量でうたひ、奧高粱社長はボロ胡弓を借りて來て滿洲民謡から木曾節を彈く始末談論あたりの喧騷を壓し歡喜夜香の花と競ふ昂揚振りであつた、途中記念撮影、いつか時經ち柱鐘九時を示すに至つて散會、みんなは夜空高く月と星あざやかな街に出た─以上(大內記す)

出席者芳名　奥村義信、西藤辰雄、室町哲二、細川明、池田東、山本久一郎、池田淸一、平原貫、高木喜久雄、安崎信男、赤木寛、佐和山一郎、山谷三郎、泉芳雄、佐藤岩之進、大田敏男、高木恭造、奧一、岡村須磨子(本社側)大內隆雄、和田郁夫、近東綺十郎(順序不同)

社告

文藝座談會の寫眞入用の方は實費(一枚三十錢)お頒けします學藝部まで御申込あれ

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

▲奉天商工月報(九月十五日號)
動く奉天の經濟事情、在奉天各府縣貿易斡旋駐在員現況其他(奉天加茂町三、奉天商工會議所、五十錢)

▲滿洲の棉花問題
東亞經濟事情叢刊の第一輯今市調査員の執筆、四六判一三〇頁(大連市敷島町八二大連商工會議所、五十錢)

▲滿洲經濟統計年報(昭和九年、上編、貿易之部)(發行所同上、一圓)

▲統計上的滿洲帝國
國務院統計處にて大衆向きに作製せるもの、滿文四六判橫組三〇頁(國務院總務廳情報處發行)

▲日本及日本人の使命(藤田宗弘著)
主として國際關係に就いて論ず、四六判八一頁(東京市本郷區本郷五ノ二〇、大昭社、三十錢)

▲非常時日本の內患(藤田宗弘著)
醫學物論、社會疾病論、個人疾病論の三項の分つて論述、四六判二一八頁發行所同上、八十錢)

▲南京政府の實相
支那の李鷹洲著「國民政府的政績」を譯出したもの、四六判九六頁(東京市麹町區內山下町一ノ一、東亞會十錢)

▲正金週報(十月四日號)
米國最近の貨幣論爭、七月本邦貿易の數量統計其他を載す(東京市日本橋區本石町一ノ六、橫濱正金銀行調査課)

▲東亞之日本(九月號)
「尻尾を出した鮮滿運輸の正體」が唯一の特輯記事である(東京市豐島區西巣鴨町四ノ一八八、東亞之日本社三十錢)

▲內外經濟情報(九月十五日號)
滿洲國貿易、稅法に關する滿文記事其他(大連市敷島町八二、日滿實業協會、二角)

▲昭和寫眞時報(十月號)
宣傳雜誌だが仲々良い、村田春雄「秋の風景撮影について」其他(東京市京橋區銀座三ノ三昭和寫眞工業內昭和寫眞時報社、十錢)

◇講談倶樂部(十一月號)

◎新掲載小說は長谷川伸の「宗五郎死人捌き」である甲賀三郎の「ものいふ牌」である、綺堂の「歩兵の髪切り」である。他は略するとして「映畫花形身の上秘話」の特輯も、映畫ファンには一寸見逃せない、プレートの好球である。

◎長谷川伸の「宗五郎、死人捌き」は、傑作中でもまた光つた傑作であらう、股旅物の定法に人情物の色彩を加味した持味は、眞にコタへられぬものである。

◇探偵物を語るなら甲賀三郎を忘れることは出來ない──この言葉を裏書きしたものは「ものいふ牌」だ讀めば分る、こゝではものいはぬことにしよう。

◇富士(十一月號)

數ある傑作の中で、長田幹彥の「空の花嫁」は、相變らず面白い。此作者獨特の人情描寫が面白い。それに事實小說でもあり、花柳界に關係ありとはいへ海軍航空隊を背景にした特異の筋にも多大の感興を覺えるこれは確に今秋の一大收穫でもある。◇これと相並んで、長谷川伸の「澤の勘八月の幾」が光つてゐる。久し振りで長谷川伸の本領を見出した感じである。◇現代物のヤクザ、竹田敏彥の「無頼子守唄」も捨て難い逸品だ、街のヤクザにギャング狩を絡ませた才氣は、この作者ならではの境地だ。◇眞山青果の「不如歸」が月を逐ふて月ごとに面白く美味を見せて行くのは遺かだ。局所々々もグイ／＼と締めてゐる巨匠の妙手思はず嘆聲を發せしめるばかりである。◇金語樓とアチャコを嚙合せて野放圖な對談會をやらせてゐるのは、脫線的妙味天下一品だ。書落したが、子母澤寛の「役者の五郎藏」も新載篇中の偉彩であゝ。

◇其他連載篇いづれも、夫々の特色を放つてゐる中に久米正雄が「晴曇」で此月は珍らしくタップリ書いてゐるのがファンを喜ばせるであらう──

不老長生への一路

微生物から發見された整腸補血、去病益壽の靈藥

江河が昔ながらに流れてゐても其の水は刻々に移り變つて行くやうに、身體も同じ姿でありながら絶えず新舊交替の作用、即ち新陳代謝が行はれて居ります。

皮膚の表面から剥がれて垢となるのも、糞便の一部に腸の内面の剥離したものが交つてゐるのも、此のためでありまして、毛髪の如きは一日に二三十本から百二十本も脱け替つて居り、僅々一年に二三回、三尺に伸びた人の頭髪でも五六年後は全く新しいものと交替するのであります。

人體が筋肉や皮膚の樣な弱いものから成り、五十年百年も堪え得るのは、全く此の新陳代謝作用によつて、老廢物を排除し、新しく構成して行くが故でありまして、此の作用が

完全に繼續すれば

神仙と等しく、不老不死たる事が出來るのであります。

然るに悲しい哉。新陳代謝は年齢と共に衰へ行き、脱けた黒髪が力の弱い白髪と變り、又は新に發生せずして白頭禿頭となるが如く、内臓諸器官も、これを構成する細胞が萎縮退行して、次第に活動力を失つて行くのであります。

獨逸の學者の研究によりますと、一種四方の傷を受けた時に、其の平癒するまでの日數は、十歳までは六日半、廿歳までは十日、卅歳までは十三日、四十歳までなら十八日、五十歳になれば廿五日、六十歳ですと卅二日を要する事になります。これは健康狀態や榮養の補給の同一な場合の調査ですから、傷を癒す所の皮膚細胞の新生力、即ち新陳代謝が、如何に

年齢の若いほど旺盛

であるかが知られます。

榮養を潤澤にとり、便通をつけ、心身を過度に勞しない事が、不老長生の道に叶ふのは、一に此の新陳代謝をして、圓滑ならしめる目的に外なりません。

年齢が加はるにつれ消化力の衰へを感じ、物忘れが多くなり、言語がくどくなり、或は夜間度々小便に起きる樣なのは、内臓が既に萎縮疲憊して來た證據でありますから、老人の常だと等閑にしないで速かに、新陳代謝機能の復活を計る事が大切であります。

此の目的を確實に達し得るのが、若素（わかもと）といふ藥でありまして、これは在來の藥品とは趣きを異にし、顯微鏡によつてのみ認められる微小な生物を原料として、活性のまゝ製劑したもので、これを服用しますと

人體構成の基礎

たる細胞に活力を與へて、新生を促すといふ、世にも珍らしい効果を奏するのであります。

若素（わかもと）は先づ胃腸に働いて、其の病衰を根本から救ひ食慾、消化力を亢め、下痢と便秘との何れを問はず、快い便通に恢復させます。

若素（わかもと）にはヴイタミンとか、ホルモンとか、又はカルシウム、燐、鐵、アミノ酸などといふ、最近の醫學が教へる所の、内臓の活動を旺盛にし、健康を增進する上に極めて有効な成分が多量に含まれて居り、細胞の新陳代謝作用に缺くべからざる酵素が、各種類に亘つて含有されて居りますから、榮養を遍く補給し、老廢物を速かに除いて廣く全身の更生を促し、病弱より恢復し、老衰を防ぎ、一路長生へと進む偉大な効力を有して居ります。

惡醉と二日醉

秋から冬と段々寒くなるにつれてお酒を飲む機會も多くなつて參りますが、お酒も、その人によつてそれぞれ適當の量があるもので、體質も考へないで、飲み過ぎたりしますとよく惡醉や二日醉を起し、折角の樂しみを臺無しにするばかりか、翌日の仕事にも差支る樣な事もしばしばあります。

惡醉、二日醉、いづれも急性アルコール中毒、急性胃カタルといつた樣なものですから、新陳代謝を旺にし、體内のアルコールを速かに排泄すればいゝのですが、こんな場合に、若素（わかもと）を服用しておけば、いろいろな酵素やホルモン、ビタミン等の作用で新陳代謝が昂まり、その上淨化作用が旺になりますから、惡醉、二日醉の豫防や治療には大變有効です。

姙娠婦人の福音

丈夫な子を安產する秘法

或 る產院の出來事です。姙婦の一人が產氣づいて、四時間足らずの短時間で樂々と生んだ赤ちやんの足を見ますと妙に短く曲つて居りました。

醫師が檢診しますと、頭の骨が非常に薄や軟く、足を動かすと骨折の場合と同樣な音がしますので、レントゲン寫眞で撮影しましたら、果して兩足の骨が折れたり曲つたりしてゐました。

產婦は普通の體格で、別に病氣もなく、十年前に生んだ子供は現在健全に育つて居り、此度の姙娠中も、轉んだり腹を打つたりした覺えがなく、胎兒の位置も正常で矯正術を行つて、強いて胎兒を動かした樣な事はありませんし、又

貧 しい生活狀態でもないのでありました。

中世紀に使はれた分娩椅子

併し此の畸形兒の生れた原因は榮養の不完全によるものと醫師は判定しました。つまり成人が生命を維持する榮養には足りても、新しい生命が形成されるに必要な榮養素が缺けると、胎兒の完全な發育が不可能で、姙娠中に骨を造るカルシウム、燐、ヴイタミンD等の成分の攝取に缺ける點があつた爲めに、かゝる不幸を招くに至つたのであります。

こんな例は珍らしい事ですが、姙娠する每に齒が失はれたり、嬰兒の頭骨の縫合線、顖門と稱する場所が長く閉鎖しないのは、常に見受ける事でありまして、母親が自身の骨質部を胎兒に與へ、しかも胎兒は骨格を完全に構成するに

足 りないのでありますから如何に姙婦にカルシウム其の他が必要であるかを知る事が出來ます。

骨を作る成分だけでなく、肉となり、皮膚となり、五臓六腑を造るアミノ酸、血液を作るに大切な鐵分等も、當然必要であります。此等の諸成分は日常の食物中に含有されて居りますが、姙娠中は特に多量を要する上に、姙娠の影響によつて諸器官の活動力が衰へ、殊に惡阻の如く、食慾が減じ食物の嗜好に偏する時があつて、充分に要求を充たす事が困難でありますために、姙娠分娩が婦人の體力を低下させ、思はぬ病氣に侵されたり、又は甚だしく容色を衰へさせるのであります。

かゝる惡影響を免れ、胎兒を完全に發育させるのに適切有効なので若素（わかもと）でありまして

惡 阻の食慾、消化力の異變を治し、内臓の機能を促進して、姙娠に伴ふ新陳代謝作用の亢進に順應させると共に、胃腸を強壯にし、消化作用を助長して食物を無駄なく體成分と化し併せて、姙婦の體力を保ち、胎兒の身體を形成するに必要な榮養素を各種に亘つて補給します。

姙娠中はヴイタミンBの消費量が、平素に數倍すると稱されてゐますが、若素（わかもと）は之れを含むこと他に冠絶し、脚氣其他の浮腫を治癒し、腸の作用を促進するのであります。

若素（わかもと）の藥價は粉末三十日量一圓六十錢、錠劑二十五日分一圓六十錢で、日本東京芝公園大門、榮養と育兒の會で發賣され、當地の藥店で取次販賣して居ります。

食慾が進み 體重も增して 肺尖カタルが輕快

（東京）湯山正夫

小生五ケ月以前より肺尖カタルにて療養中、去る七月初旬醫者よりの許可を得夕立に出遭ひ歸宅間もなく惡寒高熱、そして遂に咯血又咯血！（中略）血痰は每日の如くあり、盜汗に惱まされて食慾は日々になく心身共に全く疲れ切つてしまひました。

丁度その頃見舞に來て呉れた友人から食慾增進には錠劑「錠劑わかもと」が大變効目があると聞き直に一瓶求めて服用し始めました。（中略）ボツボツ食慾の動き始めて來た時の喜びは何に例へ樣もありませんでした。之に力を得て最初の一瓶を服み終り連續服用致してゐますが、歩いて醫者に通へる樣に迄なり、顔色蒼白だつたのが今では見違へる程紅色を呈して參りました。醫者も君のは咯血してから大變好調子だと賞めてゐた位です。かくて發病後八ケ月の現在では病氣前より體重も增加して漸く失はれた健康を取戻す事が出來たのも一重に「錠劑わかもと」のお蔭と厚く御禮申し上げます。

資本金壹千萬圓の砂糖會社實現へ

日滿合辨で既に認可も終了

砂糖專賣への一楷梯

【東京國通】某所着電によれば滿洲國政府では砂糖專賣の一楷梯として日滿合辨の砂糖會社設立を計畫し昨年末以來日本糖業聯合會に交渉を進めてゐたが、此程滿洲國側の交渉に應ずることに意見の一致を見、直ちに新會社設立の具體案作成に着手の結果、漸く成案を得たので、滿洲國政府に對し設立許可方申請中のところ此程認可を得た、仍つて株式割當その他新會社設立細目に就き協議を重ね大體左の如く決定した

一、資本金一千萬圓

右のうち臺灣、明治、大日本、鹽水港各社は二萬五千株づつ、南洋興發五千株、三井物産その他關係方面若干總數六割以上、滿洲側七八萬株

一、二萬株を一般公募

新京、雄基、羅津間直接連絡を實現

【奉天國通】來る十一月九日雄羅線の開通と共に多年の懸案たる新京、雄基、羅津間直通列車運轉を開始し名實共に京圖線の北鮮二港との直接連絡を實現することとなつた、即ち現在北鮮との連絡列車は新京淸津間の急行二〇一號列車及び二〇二號の一往復のみであるが今回の雄羅線開通を機會に圖們止めになつてゐる京圖線二〇三號、二〇四號兩列車を羅津迄延長する事になつた、一方朝鮮鐵道局に於ても同時に京城、雄基、羅津間直通列車を運轉することに決定して居るから北滿物資の吞吐港として躍進せんとする雄基、羅津は新京並びに京城への各一往復列車の開設により其發展に拍車を加へるものと期待されて居る、直通列車運轉時間左の如し

△下り二〇三號列車　新京發七時二十分、圖們着十九時三十分、羅津着零時三十分（朝鮮時間）

△上り二〇四號列車　羅津發六時十五分（朝鮮時間）圖們着九時四十五分、新京着廿一時四十五分

羅津築港竣工

北鮮三港陣容整備

【東京國通】日滿鮮交易の新經路として建設中の羅津港の工事は愈々竣工し第一突堤は本月中に完成するが此結果北鮮三港の地位に多大の變動を生ずる事となつた、即ち最近大豆を始め滿洲特産物の北鮮經由日本向け輸出は漸增の傾向にあり、これ等は何れも雄基、淸津兩港より積出されてゐたが今後は專ら羅津港に統一され淸津は旅客扱ひ雄基港は北滿材專門の積出し港となるものと觀られ商船、近海郵船を始め北鮮向け各船會社では從來の淸津中心を羅津中心に改むべく各般の準備を進めてゐる

總裁來吉

各方面を歷訪

【吉林國通】松岡總裁は本十六日午前八時五十分新京より飛行機にて來吉、山領鐵路局副局長の案内にて〇〇隊司令部を訪問、昨夜〇〇師團本部より歸來せる尾高司令官と約二十分會談、それより衞戍病院、吉林神社を歷訪、吉林神社では山口縣人會員と會見それぞれ人間松岡振りを發揮し更に總領事館、省公署、特務機關、軍管區司令部等を訪ひ十一時には鐵路局に引返し全局員を參集せしめて一場の訓示を爲し局内を巡視の後鐵路局首腦部並びに地方名士三十名と午餐を共にし午後一時半再び飛行機上の人となり牡丹江へ向つた

素人釣魚會

―廿日は特に―

郫、ビューロー主催、本社後援の釣魚大會は漸く人氣をあつめてゐるが、今度の日曜日（二十日）には特に素人に重きをおいて第三回釣魚大會を飲馬河で催す、賞品は一等カップ二等銀盃以下十五等まで（但し素人は玄人の半分で釣魚等級をとる）婦女子、素人には餌、釣加減を指導するので心配御無用、婦女子、素人の參加を歡迎すると會費二圓（婦人、子供は一圓いづれも汽車賃を含む）申込所は西山運動具店、文海堂運動具店、森野商店、梅田商店、宮崎商店へ十九日正午まで

けふ神嘗祭

宮中で嚴かな御親祭

【東京國通】十七日は神嘗祭につき宮中賢所に於かせられては　天皇陛下御親祭の下に嚴かに御祭典を行はせられる、此朝賢所には御在京各皇族方御參列、岡田首相、一木樞相、各國務大臣、牧野内府以下文武官參列、三條掌典長以下掌典部員奉仕して賢所大前に新穀の神饌を供し掌典長祝詞を奏し奉れば　天皇陛下には黃櫨染御袍の御束帶を召され神嘉殿の南廂に出御伊勢神宮を御遙拜あらせられて後賢所内陣に御參進恭しく御親拜、玉音朗らかに御告文を奏せられ次で　皇后陛下の御代拜あり　皇太后陛下、各皇族の御拜禮があつて後參列諸員拜禮、御儀を終へさせられる、尙此の日伊勢神宮にも勅使として入江掌典を參向せしめられ御祭典を行はせられる

壯烈・肉彈護國

文字通り屍山血河

梅鉢部隊の奮戰詳報判明す

【吉林國通】去る十三日撫樹縣鴨子園東方王家屯に於る梅鉢部隊の奮戰狀況は本日やうやく詳細判明したがそれによると梅鉢中尉の指揮する〇〇名は十三日早曉より活動を開始し午前六時敵匪を發見、これを包圍隊形の下に置き午前七時頃より猛火を浴せたが敵匪はこの包圍隊形より逃れ出ずべく死者狂ひとなつて猛烈な反擊を開始したので先頭にあつて奮鬪せし片岡上等兵先づ戰死し次いで軍刀を振りかざして部下を指揮しながら敵匪に肉迫せる藤田少尉は頸部に盲貫銃創を受けて倒れ、これを知つて有原上等看護兵が敵彈雨注の下を潜つてかけつけ傷口に繃帶を施しつゝある時これ亦敵の流彈に頭部を射拔かれて戰死した、この時彼我の間隔は僅に二十米に迫り文字通りの肉彈戰となつたので梅鉢隊長は自ら軍刀を拔き放つて先頭に立ち敵陣に突入し數名を薙斃して奮戰せるも遂に刀折れ頸部に敵彈を受け花々しき戰死を遂げたものである、尙本戰鬪に於て匪首亞東洋も戰死せること判明した

新京驛前廣場に噴水が出來る

南廣場も一層美しくなる

驛前廣場と南廣場が形を變へる、今年は經費の關係で實行出來ず計畫は鬼の笑ふ

來年

の春のことになるが驛前廣場も共に中の圓が小さくなる、驛前廣場の方は圓の驛に面した半分を切り取つて廣場にし、こゝで分列式等も行へる樣にして自動車路、馬車道、人道と整然と分け圓の眞中にあつて少しも風光を益したい塔は取つてしまつてその代り噴水を造つて爽かな氣分を出さうといふ、完成の曉には秩序と體裁とを備へた國都の玄關として決して他國のそれに劣らぬものにしやうと關係者では期待してゐる南廣場の方は八方から道路がこゝに落ち合ひこの落合ふ道が日本橋通りを除き他の六つは皆坂を下りて來るので今の廣場の道路幅では自動車と馬車の通行に不便を感じ衝突等の事件が起り易いので中の圓を小さくして外の道路を廣くしようといふのが眼目で中の圓も今の儘では餘りに殺風景なのでこの機會に何とか

風光

を添へるものをともくろまれて

關東軍二課三班へ

柴野少佐昨夕着任

參謀本部から關東軍司令部參謀部第二課三班に轉任の柴野亥知少佐は十六日午後五時三十分着あじあで家族同伴着任した

楡の落葉をふめば冬の跫音が聞ゆ

ハイヒールとフエルトの秋

コツ、コツ、ばさり、ばさり……コツ、……

――あの頃は樂しかつたわねえ。

――あの頃つて？……

――アラ……タイトル・夏家河子にて……さ、フフ……

――あら、お惚氣？……フルーツ・ポンチでよくつてよ

――そんな風にとつちやふのぢや、旨ふわ……妾ネ、彼氏とバイ〳〵しちやつたの

先月よ

――ホントなの？……どうしてさ。オー・レボアールなの？……それとも

――モチ、エターナル・フィニーよ。だつてママがどうしても婚約しろッてんですもの

――ああ、あのドンキイ氏と……そう、感動

――だから……さ。

――同情するわ。だけど、その方がいいんぢやない。イクラ彼氏がゲーブル型でもプロレータぢやイミないわ

――ああ……『或る夜の出來事』はよかつたなあ！

――イッツ・ハップン・ワ・ナイツ……（鼻唄で）落葉をふめばしみじみと、眞夏の夢を想ひ出す。……一寸、西條八十調だわね、しつかりなさいよ。……そしてウエデング・マーチは何日なの

――ドウセ黃道吉日よ、十一月三日なんだつて……

――××、△△兩家お目出度新郞は百萬長者金丸聡家の嗣子、慶應大學文科を一番（お尻から）にて卒業せんとする途中で米國ミリオンダラー大學に遊學、マスター・オブ・コックテイルの學位を獲得……ホホホホホ

――新婦は

――止しませう。他人ごとならずだわ。

――年頃だからね

――アリガトウゴザイマス

――落葉をふめば、しみ〴〵

と

――微かに冬の跫音きこゆ（フエイド・イン）―近生―

ピショ濡れ露天ホーム

冷雨降りしくきのふの午後、雨凌ぎのトタン屋根さへ持たない新京驛第三ホームでは頭からびしよ濡れの藝妓さんや新聞紙被りの父ちやんが現はれ地下道がホームやらホームがどこやら判らぬ珍風景が出演した、夕暮になつても降りやまぬ雨で下りあじあの到着時には暗さは暗し傘はなし折角迎へに出た友人の顏の見分けもつかずうちへ歸つてみるとお客の方が先につてゐた喜劇も二、三の家庭ではあつたらしい…君もないのか傘、傘のない者には用がない―おは入りなさい濡れますよ…ていつた樣な光景はあすこでもこゝでも（寫眞がそのきのふの第三ホーム）

松花江地帶

山道部隊活躍

【吉林國通】去る十三日より扶餘農安を中心に松花江沿岸地帶を討匪中の山道部隊は十四日午後二時頃前郭旗東南方十五キロ山家子北方中洲において振君匪八十名と遭遇交戰二時間の後これを擊退したが匪團の遺棄屍體二十四、小銃……を奪還した、また同部隊は十五日午前十一時頃王府東方四キロ哈拉木屯附近中洲にて北……しめた、敵匪遺棄屍體七、尙同部隊は引續きこれを追擊中である

電々會社の職制改正發表さる

【大連國通】電々本社新京移轉に伴ふ同社職制改正は相當廣範圍に亘る人事異動と共に十六日正式發表された、尙本社では來る二十七日を皮切りとし三日間に亘り愈よ新京へ移轉されることになり社内は準備に忙しいが發表と同時に大連に於ては現中央電話局内に大連管理局が設けられ十六日より事務を開始した

滿鐵接客座談會

鐵道旅客萬全のサーヴイスを計るため列車乘務員、新京驛大和ホテル、構内食堂、日本國際觀光局の滿鐵關係州餘名合體となり十六日午後一時よりヤマトホテル會議室にて第一回接客座談會を開催、旅客サーヴイスに就て種々懇談を遂げ午後三時半散會した、今後も隨時集會を催し旅客の滿足第一主義を以て邁む筈である

首都警察記念式

首都警察廳では十六日は開廳三周年記念に相當するので午前十一時より管下委任官以上全員參集記念式を擧行した

馬車の忘れ物

首都乘用馬車人力車營業組合取扱の馬車内の忘れ物左の如し

十二日石油コンロ一個、大經路警察署保管、十四日風呂敷包一ケ（初年滿語、鐵江省事情他雜誌在中、）同十五日新京驛前灰色トランク一個（婦人羽織一枚、十圓紙幣一枚、時計、彩票其他在中）同

（新京驛前廣場……）てゐるが、こゝに水道タンクを置かうと言ふ計畫もある、扨てどんなものが出來上るか來年の春が待たれるが驛から吉野町、日本橋へかけて繁華さを增しつゝある新京の中心盛り場の氣分を益々濃かにする樣なものにしてほしいものである

冬は先づ

「留置場から」

十六日晝から降り出した雨で氣溫頓に低下し新京署地下室の留置場に這入つてゐる留置者は震ひ上つてゐるので同日夕方からスチームを通した

元橋擔當を迎へ青年學校の女子部設立懇談

來る二十三日滿鐵本社地方部社會課から家事講習所擔當元橋係員が來京、社會主事、家事講習所講師、新京家政女學校長、新京青年學校長その他關係者を交へて現地の擔當者と懇談會が催されるが同懇談會では特に青年學校に女子部新設について各關係者からもそれ〴〵意見が述べられるものと觀られてゐる

ダーソンルス

長岡總務廳長、國際司法裁判所判事としてパリへ行く長岡春一さんを驛に見送つたら、同姓だものだから、「あの方はあなたの御親戚ですか？」と訊ねるもの、はては「お兄さんですか？」と問ふ者など續々とあり、新京の長岡さん「ぼくあ、あの人とは親戚でも何でもないんです」と辯解のやうな口調「でもどこか似てますよ」と言はれ「いや、ぼくの方が色男だと思つて！！―」

愛よ戰ひとれ

（讀賣新聞上演・映畫化）　福田正夫　泉武久畫

（五十七）

龍斷（三）

「どこへ行くの、散歩？」
勝美がたづねたが、
「用なんです」
邦雄はそれどころではなかつたのだ。
「あら怒つてゐるの？　私、今日は、とてもいゝ話で迎へに來たのに」
「迎へ？」
「えゝ、さうよ」
彼女は機嫌がよかつた。晴れやかな美しさが、輝くやうな頰を紅くして、──彼女は蠱惑するやうに、につこりと白い齒を赤い唇の間からのぞかせた。
「ドライヴするの。……どこでもいゝわ、一日泊りでも」
「ドライヴ、誰とです」
彼は勝美の腕に光つてゐる寶石の腕輪を見た。
（この石一つでも、彼女は救はれるのに……）
「きまつてるわ」
勝美はこともなげだつた。
「あなたと私とよ……運轉手は渡邊さん、ほらあのいやな奴！　あなたも知つてるわね」
「渡邊さんですか？」
邦雄はおどろいた。彼女は華族の次男を運轉手のつもりで、彼をドライヴに誘はうとしてゐるのだ。彼にはその心持が理解出來なかつた。
「行くわね。護衞の騎士としたつて、[illegible]けてはいけないわ」
「渡邊さんは承知なんですか？」
「いゝえ、そんなことかまやあしないぢやないの。あの人が自分で新しい車が買へたからつて、物好きに運轉したいのよ」
「でも、あなたを誘つたんでせう」
「私を誘へば……。それがあんたを誘つたことにもなるわ」
邦雄は渡邊に、なにかいやらしい意圖があるやうな氣がして、彼女をうちまもつた。
「行かない方がよくはないんですか、あなたも……」
「嫉妬？」
「そんな……」
彼は苦笑した。
「なんでもいゝわ。私達は乘客よね、行きませうよ」
彼女は身を搖すつて瞳を輝かした。
「うれしいわ」
「でも……」
邦雄は麗子の急を思ひ出した。
「僕はどうしてもお供出來ないんです」
「なぜ？」
勝美はすぐ瞳を光らせてつめよつた。
「用があるんです」
「その用をおつしやいよ」
「いへません」
「どうして？」
「私のことなんです。それに……急ぎますから」
「わかつたわ」
彼は女性を媚惑にする！　彼女には殊に天稟があつた。
「あんたは、お靜のところへ行くんでせう？　行方がわからないなんて、きつと、文通してゐるのよ」
「文通なんかしてゐません」
「嘘、……手紙なんか、わからないところへかくしておくんだわ」
「僕は急ぐんです。が、嘘かほんとかは、……と、この手紙をごらんなさい」
彼はふところから封筒を出すと所書をしらべてから、彼女にあたへて走り出した。──